

令和2年度以降入学生用

授業時間割表 授 業 内 容

令和 4 年度

群馬大学共同教育学部

教育基礎科目

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位教	学年	クラス	履修 区分	メチ、フ	授業内容
教育の理念	教育原論	(一)	上原(秀)[字]	EB2000	前前					ABC	必①	字	我が国の教育を成り立たせている基本的な論理と、その歴史的な特徴について、基礎的な知識を与える。
		(二)	和井内[字]	EB2002	前前	月	1-2	1	DEF				
		(三)	上原(秀)[字]	EB2001	後前					GHI			
		(四)	和井内[字]	EB2003	後前					JKL			
教育の意識	教育学理論探究	(一)		EB2006	前前					ABC	必①	群	西洋と日本の教育思想/理論を中心に、人類が教育をどのように考え実践してきたのかを、その歴史的背景と現在の日本の教育との関連を同時に射程に収めながら学んでいく。
		(二)	三澤	EB2007	前後	木	1-2	1	DEF				
		(三)		EB2004	後前					GHI			
		(四)		EB2005	後後					JKL			
教職の意識	教職論	(一)		EB2008	前前					JKL	必①	群	教職の意識や教員の役割等について考察する。
		(二)	安藤(哲)	EB2009	前後	月	1-2	1	GHI				
		(三)		EB2010	後前					DEF			
		(四)		EB2011	後後					ABC			
教育の制度	教育の社会的背景と 制度原理	(一)	小野瀬[字]	EB2012	前前					ABC	必①	字	公教育制度の基本原理と役割、発達段階に応じた教育制度の歴史、構造、理念、現状、課題について基礎的な講義を行うとともに、現代社会の要請に現在の日本の教育がどのようなように応えようとしているのか、今後どのような教育が必要となっていくのかをともに考察する。
		(二)	小原(一)[字]	EB2013	前後	水	3-4	1	DEF				
		(三)	小原(一)[字]	EB2014	後前					GHI			
		(四)	小野瀬[字]	EB2015	後後					JKL			
教育の制度	教育の制度と社会	(一)	新藤	EB2016	前後					ABC	必①	群	教育を取り巻く社会的・制度的・経営的な事項を、理論やデータ、事例をもとに理解する。特に本授業では、学校内外の連携、危機管理、外国における教育や外国につながる子どもの教育などについて扱う。
		(二)	高橋(望)	EB2017	前前	水	3-4	1	DEF				
		(三)	高橋(望)	EB2018	後後					GHI			
		(四)	新藤	EB2019	後前					JKL			
心身の発達	心身の発達と学習過程	(一)	宮代[字]	EB2020	前	集	-	1	A~L		必①	字	児童・生徒の学習や発達に資する教育心理学の基礎的な知識や捉え方について講義する。具体的内容としては、学習理論と教授-学習方法、発達理論、測定と評価などについて触れる。
		(二)		EB2021	後前					ABC			
		(三)	大島	EB2022	後後	水	3-4	1	DEF				
		(四)		EB2023	前前					GHI			
特別支援	特別支援教育基礎論	(一)		EB2024	前後					JKL	必①	群	幼児期から青年前期を中心とした発達を概観するとともに、学習・教授・評価などの教育心理学の諸問題を論じる。
		(二)		EB2025	前前					GHI			
		(三)	斎藤(大)[字]	EB2026	前後	月	1-2	1	ABC				
		(四)		EB2027	後前					DEF			
特別支援	特別支援教育の実践と 事例研究	(一)		EB2028	後後					JKL	必①	群	学習障害やAD/HD等を含めて、障害のある児童生徒に対する特別支援教育は、全ての教員が知っていなければならない事項である。障害の特性および個々の教育的ニーズなどを整理しながら、現代の特別支援教育の基礎的な事項を概説する。
		(二)	阿尾	EB2029	前前	木	1-2	1	GHI				
		(三)		EB2030	前後					DEF			
		(四)		EB2031	後前					ABC			
教育課程	教育課程論	(一)	青柳[字]	EB2032	後後	集	-	1	3~		必①	字	グローバル化する世界における内外の教育課程改革の動向を検討することを通じて、望ましい教育課程と教育課程開発のあり方について考察していく。
		(二)	丸山[字]	EB2033	後								
		(三)		EB2034	後前					ABC			
		(四)	山崎(雄)	EB2035	後後	木	3-4	1	DEF				
教育課程	カリキュラム開発と マネジメント	(一)		EB2036	後後					GHI	必①	群	児童生徒の発達、社会的要請をふまえた教育課程のあり方をまずふまえた上で、カリキュラムマネジメントの真実的な方法論と実践を、「カリキュラム開発」に重点を置きつつ考察していく。
		(二)		EB2037	前前					JKL			
		(三)		EB2038	後後								
		(四)			後後								

教育基礎科目

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修 区分	メチャク ア	授業内容	
道徳教育	道徳教育授業論	(一)	上原(秀)[字]	EB2039	前後	月	1-2	1	1	ABC	必①	字	道徳科の特質や基本的な授業構造、指導方法等について、授業映像等を基に講義する。また、各学年段階で活用する教材を紹介し、小学校及び中学校における道徳科の授業づくりを行う。	
		(二)	和井内[字]	EB2040	前後					DEF				
		(三)	上原(秀)[字]	EB2041	前後					1	GHI			
		(四)	和井内[字]	EB2042	後後						JKL			
道徳教育	道徳教育論： 歴史・理論・実践	(一)		EB2043	後後					ABC			道徳とはどのようなものかという根源から説き起こし、価値判断のぶつかり合いの連続である現象をどのように生き抜いていったらよいか、またそれを次の世代の子どもたちにもどう伝えていったらよいかを体感しながら考える。	
		(二)	三澤	EB2044	後前	木	3-4	1	2	DEF	必①	群		
		(三)		EB2045	前後						GHI			
		(四)		EB2046	前前						JKL			
特別活動	特別活動論	(一)		EB2051	後後					ABC			学習指導要領に基づき、学級・ホームルーム活動、児童・生徒会活動、学校行事等の理論と実践について取り上げる。	
		(二)	吉田(浩)	EB2052	後前	水	3-4	1	2	DEF	必①	群		
		(三)		EB2053	前後						GHI			
		(四)		EB2054	前前						JKL			
教育の方法	総合的な学習の時間の 指導法	(一)		EB2047	前前	火	1-2	1	3	ABC			小・中・高等学校で実施されている「総合的な学習(探究)の時間」の学習指導を要請するために必要な「探究的な学び」や「評価方法」などの知識・技能を習得し、具体的な授業設計ができることを目指す。	
		(二)	音山	EB2048	前後					DEF	必①	字		
		(三)		EB2049	前前						GHI			
		(四)		EB2050	前後						JKL			
教育の方法	教育の方法・技術	(一)	青柳[字]	EB2055	後	集	-	1	3				過去において提起、実践された経験主義に基づく教育方法、また系統主義に基づく教育方法それぞれ「必要」と「課題」を理解した上で、これらから求められる「資質・能力」を育成していくための「必要」と「課題」を理解した上で、これらについて検討を行い、さらに模擬授業を実施することによって、学生一人一人が、これから求められる教育の方法・技術について基礎的な知識・技能を身につける。	
		(二)	丸山[字]	EB2056										
		(一)		EB2057	前前						DEF			学校教育における情報通信機器の環境整備、活用方法、意義等について学ぶ。
		(二)	鈴木・紺谷	EB2058	前後	木	1-2	1	1		ABC	必①	群	
教育の方法	教育方法の実践と事例研究	(一)	鈴木	EB2075	前	集	-	1	2~				学校教育について、主に心理学を背景としながら、その実践方法について授業実践事例や理論の解説を通じて学ぶ。 ※2020年度、2021年度入学生用科目	
		(二)		EB2076	後									
		(一)		EB2061	前前						ABC			学校は知識を身に付けさせるだけの場所ではない。健全な社会人としての成長を促すこともまた、学校の重要な役割である。そして、その重要な役割を担うのが生徒指導である。
		(二)	久保田[字]	EB2062	前後	木	3-4	1	2		DEF	必①	字	生徒指導を行うにあたり、教師は多様な個性をもった児童・生徒と対峙し、それを尊重し伸ばしていく必要がある。その際には、他の教職員や関係機関と連携して、組織的な対応をとることも求められる。
生徒指導	生徒指導・進路指導	(三)		EB2063	後前					GHI			そこで、本講義では、生徒指導の核となる考え方を理解した上で、学校で生じている諸課題を学び、それらに必要な知識を理解し、実践上の指針を形成することを目的とする。	
		(四)		EB2064	後後					JKL				
		(一)		EB2071	前後						ABC			事例を通して、生徒指導・進路指導・キャリア教育に関する実践的な理論と方法を学ぶ。
		(二)	吉田(浩)	EB2072	前前	火	1-2	1	3		DEF	必①		
教育相談	教育相談の理論と方法	(三)		EB2073	前後					GHI				
		(四)		EB2074	前前					JKL				
		(一)		EB2065	前後						ABC			学校における教育相談の意義と目的を理解した上で、教育相談を進める際に必要な基礎的知識、子どもたちの状態や症状に対する感受性について学ぶ。子どもへの対応として教員のコミュニケーションとカウンセリングの基本的態度(受容・傾聴、共感的理解、純粋性)について学び、さらに具体的な行動変容の基本的知見について理解する。
		(二)	川原[字]	EB2066	前前	木	3-4	1	2		DEF	必①	字	
教育相談	教育カウンセリングの 実践と事例研究	(三)		EB2067	後後					GHI				
		(四)		EB2068	後前					JKL				
		(一)	岩瀬[非]	EB2069	前	集	-	1	3					学校教育相談の理論を基盤とし、現在の学校現場が抱える教育相談的課題について、実践力を養う。
		(二)		EB2070										

小学校教科・指導法

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修 区分	メディア	授業内容
小学校国語	小学校国語	(一)	小林(英)・ 小林(正)・永由・ 守安[宇]	EB2077	前	金	5-6	2	2	ACFIK		両	小学校の国語の授業で教える事項について学ぶ。
		EB2078		後	3-4		EHL						
		EB2079		後	5-6		BDGJ						
小学校社会	小学校社会	(一)	齋藤(周)・今井・ 松村[宇]・黒川[宇]	EB2080	前	金	1-2	2	2	ACFIK		両	小学校社会科の基礎となる考え方を学ぶ。
		EB2081		後	1-2		EHL						
		EB2082		前	3-4		BDGJ						
算数	算数	(一)	伊藤(隆)・石井・ 牧野[宇]川上[宇]・日 野[宇]	EB2083	前	金	5-6	2	2	BDGJ			数学概論
		EB2084		後	3-4		ACFIK						
		EB2085		後	5-6		EHL						
小学校理科	小学校理科	(一)	日置・岩崎 他	EB2086	前	金	1-2	2	2	BDGJ		群	理科各分野の概論
		EB2087		前	3-4		ACFIK						
		EB2088		後	1-2		EHL						
小学校家庭	小学校家庭	(一)	町田・田中(麻) 他	EB2089	前	金	1-2	2	2	EHL		宇	家庭科についての基礎的理解
		EB2090		前	3-4		BDGJ						
		EB2091		後	1-2		ACFIK						
小学校英語	小学校英語	(一)	金田 他	EB2092	前	金	5-6	2	2	EHL		両	外国語活動ならびに外国語科における諸領域について、その基礎知識をオムニバス形式で学び、英語教育実践のための指導力を養う。また、より効果的な授業展開のための英語運用能力を身に付ける。
		EB2093		後	3-4		BDGJ						
		EB2094		後	5-6		ACFIK						
生活	生活	(一)	町井[非] 他	EB2095	前	火	3-4	1	2	国・教・技・美			生活科の意義、目的、内容について考察する。
		EB2096		後	5-6		社・英・蒙・特						
		EB2097		後	7-8		理・音・体・教・心						
小学校音楽A	小学校音楽A	(一)	三國	EB2098		月		1	2	GKL			基礎的な声楽、器楽の演習及び音楽通論
		EB2099			火		CD						
		EB2100		前	水		HIJ						
		EB2101			木		AB						
		EB2102			木		EF						
図画工作	図画工作	(一)	多胡[非]	EB2103		月		1	2	CD			造形領域の演習
		EB2104			火		KL						
		EB2105		前	火		GH						
		EB2106			水		AB						
		EB2107			水		EF						
		EB2108			木		IJ						

小学校教科・指導法

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修 区分	メディア	授業内容
小学校体育	小学校体育	(一)	中雄・田井・島	EB2109	前	月	1-2	1	2	AEI			小学校体育教材の実習と指導法
		(二)		火									
		(三)		水									
		(四)		木									
小学校指導法 (国語)	初等国語科指導法	(一)	河内・濱田・永由	EB2113	後	水	1-2	2	2	ABCD			小学校国語科教育の理論と方法
		(二)		前	月	3-4	2	3	EFGH				
		(三)		前	水	1-2	3	IJKL					
小学校指導法 (算数)	算数科指導法	(一)	小泉	EB2116	後	水	1-2	2	2	EFGH			小学校算数科教育の理論と方法
		(二)		前	月	3-4	3	IJKL					
		(三)		前	水	1-2	3	ABCD					
小学校指導法 (社会)	初等社会科指導法	(一)	宮崎	EB2119	後	月	1-2	2	2	ABCD			小学校社会科教育総論及び各論
		(二)		後	火	3-4	2	1JKL					
		(三)		前	木	3-4	2	EFGH					
小学校指導法 (理科)	初等理科指導法	(一)	栗原	EB2122	後	月	1-2	2	2	EFGH			小学校理科教育の総論と各論
		(二)		後	火	3-4	2	ABCD					
		(三)		前	木	3-4	3	IJKL					
小学校指導法 (家庭)	初等家庭科指導法	(一)	半田良廣[非]	EB2124	前	木	3-4	2	2	1JKL			小学校家庭科教育の目的、内容、方法、授業設計
		(二)		後	月	1-2	2	1JKL					
		(三)		後	火	3-4	2	EFGH					
小学校指導法 (音楽)	初等音楽科指導法	(一)	上里	EB2130	前	木	3-4	2	3	ABCD			小学校音楽の理論と方法
		(二)		後	月	1-2	2	ABCD					
		(三)		前	木	3-4	3	IJKL					
小学校指導法 (図画工作)	図画工作科指導法	(一)	伊藤(陽)	EB2131	後	木	1-2	2	2	ABCD			図画工作科教育の理論と方法
		(二)		前	水	3-4	2	1JKL					
		(三)		前	金	3-4	3	EFGH					
小学校指導法 (体育)	初等体育科指導法	(一)	市川	EB2134	後	木	1-2	2	2	EFGH			小学校体育科教育の総論（指導法の実習を含む）
		(二)		前	集	-	2	3	ABCD				
		(三)		前	金	3-4	3	IJKL					
小学校指導法 (英語)	初等英語科指導法	(一)	郡司	EB2136	前	金	3-4	2	3	1JKL			小学校英語科教育の理論と方法
		(二)		後	木	1-2	2	1JKL					
		(三)		前	水	3-4	3	EFGH					
小学校指導法 (生活)	生活科指導法	(一)	木山 他	EB2138	前	水	3-4	2	2	1JKL			生活科の指導法について考察する。
		(二)		前	月	3-4	2	2	ABCD				
		(三)		前	水	1-2	3	EFGH					
		(一)	渡部	EB2140	後	水	1-2	2	2	1JKL			
		(二)		前	月	3-4	2	2	ABCD				
		(三)		前	水	1-2	3	EFGH					
		(一)	町井[非] 他	EB2142	前	水	1-2	2	3	EFGH			
		(二)		前	月	7-8	2	3	国・教・技・美 理・音・体・教・心				
		(三)		前	火	5-6	2	3	社・英・家・特				
				EB2125	前	月	7-8						
				EB2126	前	火	5-6						
				EB2127	前	火	7-8						

国語分野

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修区分 メディア	授業内容	
国語学	日本語学概説A		小林(英)	EB2143	後	水	1-2	2	1~		必②	指示詞、音声など、話し言葉に関する様々なトピックを取り上げ、解説していく。	
	日本語学概説B		小林(正)	EB2144	前	木	7-8	2	1~		必②	日本語学の諸分野について、基礎的な事項を講義し、教員としての関わり方を考察する。	
	文章表現		森田[宇]	EB2145	前	木	5-6	2	1~		必②	様々なジャンルの文章を読解しながら、文章表現に関するさまざまな知識を理解する。また、論理的な文章表現を行うために必要な作文技術を、講義及び演習を通して修得する。	
	日本語学講読A		小林(英)	EB2148	前	木	5-6	2	2~		選	日本語の文法について理解を深め、日本語の仕組みを自分自身で分析できるようになることを目的とする。	
	日本語学講読B		小林(正)	EB2149	後	木	5-6	2	2~		選	日本語の歴史的变化についての知識を体系的に整理して理解し、わかりやすく説明できるよ	
	日本語学演習A		小林(英)	EB2384	前	木	7-8	2	3~				日本語の文法
日本語学演習B		小林(正)	EB2385	前	金	1-2	2						日本語の歴史の変遷を、それぞれの時代の資料読解を通じて把握する。
国文学	日本文学概説A		鈴木(啓)[宇]	EB2146	前	金	7-8	2	1~		必②	近代日本の優れた掌編小説をとりあげ、様々なアプローチ方法によって解釈と鑑賞を深め、文学を読むとはいかなる営為か、日本の近代文学はどのような特色を持ち、どのような命題に向かっていたかを、具体例に則して概説する。	
	日本文学概説B		守安[宇]	EB2147	後	木	5-6	2	1~		必②	主として森鷗外の作品を題材として、文学的な知識を深めるとともに、考察力を養成する。さらに同時代の夏目漱石や自然主義文学の動向を見据えながら、明治末から大正初期にかけての文学史を俯瞰する。	
	日本文学講読B		権田[非]	EB2151	前	集	-	2	2~		選	中学校・高等学校の国語科で文学的教材(小説・評論・随筆・詩歌)を扱う際に必要な日本近現代文学の基礎的知識と博く深い興味関心を涵養する。	
	日本文学講読C		藤本	EB2152	前	月	5-6	2	2~		選	上代から中世までの我が国の言語文化の流れを概観することを通じ、そこに見て取れる表現の特色を理解する。	
	漢文学概説		鈴木(望)[非]	EB2153	前	火	7-8	2	2~		必②	中国文学、思想、東洋中等の学習の基礎となるべき漢文訓詁法を習得する。更に、中国の散文、韻文の成立・展開を理解し、また我が国の漢文学の展開をも理解する。	
	書道		永由	EB2154	後	木	9-10	2	1~		必②	群	硬筆・毛筆双方の技能を習得する。日中の名跡を臨書することで、書道史についても理解し、文字文化の伝承に対する関心を深める。
国語分野	書写演習A		永由	EB2388	前	木	7-8	2	2~		選	「書写法」を履修した上で、さらに国語科書写への理解を深める。国語教育講座として、国語専攻2年生全員の履修を強く推奨する。	
	書写演習B		永由	EB2389	前	木	9-10	2	3~				「書写演習A」を履修した上で、国語科書写の発展的内容を扱う。
	国語教育演習A		濱田	EB2390	前	火	9-10	2	3				卒業研究の執筆に向け、国語科における学習指導の目標・内容・方法について理解を深める。
	国語教育演習B		河内	EB2391	前	金	7-8	2	2~				教育実習並びに卒業論文に向けて教材研究、模擬授業、授業観察等を行う。
	中等国語科指導法A		濱田	EB2283	後	金	7-8	2	2		必②		「主体的・対話的で深い学び」の視点について理解を深め、中等教育段階での国語科授業における学びのデザインについて具体的に考える。学習指導要領における学力観にかかわる議論について検討し、今日的な授業観・学習指導観について理解を深める。
	中等国語科指導法B		濱田	EB2284	前	火	7-8	2	3		必②		小学校国語科の授業における「主体的・対話的で深い学び」の実現について理解を深め、実際に授業を実践する力を身につける。
中学校指導法 (国語)	中等国語科指導法C		河内	EB2285	後	火	5-6	2	2		必②	中学校及び高等学校の学習指導要領における「国語」の目標や内容を理解した上で、教材研究に関わる基礎的な知識を修得する。また、授業場面における生徒の言語行動を具体的に想定しながら教材分析を行い、教材開発や学習指導案の構想等、授業設計に必要な基礎技能を修得する。	
	中等国語科指導法D		河内	EB2286	前	金	5-6	2	2		必②		

社会分野

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修区分	メテア	授業内容
日本史	日本史概説		藤森	EB2155	前	火	9-10	2	1～		必②		日本の古代国家から、中世社会、近世の始まりまでを概観する。
	外国史概説A		下田 [字]	EB2156	前	金	9-10	2	1～		必②	宇	8世紀にカール大帝が、ヨーロッパに統一王国をつくったが、その後分裂し、ヨーロッパにおいては、中国や中東などが異なり、統一国家が成立しなかった。なぜなのか。この問いを解くために、ヨーロッパを「種分け」という概念を使って講義する。
外国史	外国史概説B		今井	EB2157	後	金	1-2	2	1～		必②	群	近世および近代の中国史を中心とする東アジア史を扱う。・同時代の日本のあゆみを意識すること、・中国と日本の社会構造の異同を念頭におくこと、・義務教育段階で学習することになる日本史関係の内容を外国史(東アジア史)の観点からさらさらに掘り下げることを、の3つを意識し、日本史関係史および中国史を政治、経済、文化など多角的視点から理解することを旨とする。
地理学	自然地理学概論		青山	EB2158	後	金	5-6	2	1～		必②	群	地形、気候、植生など多様な構成要素からなる自然環境と人びとのくらしとの関係について、身近な地域から海外諸地域の具体的事例に即しながら、地形図などの資料も活用しつつ理解を深めていく。地形の成り立ちを知り、地形と自然災害との間には密接な関係性があることを、過去の自然災害発生事例を取り扱いつつ確認していく。地理的な見方を通して土地の履歴を理解することが、地域における防災や減災にも有効であることを確認し、防災教育のあり方などについても考えていく。
	人文地理学概論		関戸	EB2159	後	火	5-6	2	1～		必②		地域調査の手法について学ぶとともに、地域に関わる事象を理解し、地理的な見方・考え方を働かせて、地理的な課題について考える。中学校社文科・地理的分野における地域調査の手法と地域の在り方の授業を行うために、必要な技法と知識を修得するとともに、農業と食糧を題材として、系統地理的なアプローチによって課題を考察する。
地誌学	地誌学概論		関戸	EB2160	前	火	5-6	2	2～		必②		日本と世界の様々な地域について、地域の諸事象や地域の特徴を理解するとともに、地理的な課題について考察する。地誌学習のあり方を検討するとともに、日本と世界の様々な地域について、自然環境・人口・都市と農村・産業・文化など、それぞれ中核となるテーマを設定して地域的特色を考察し、地理的認識を深める。
法学	法学概論		斎藤(周)	EB2161	後	水	1-2	2	1～		必②		法とは何か、ルールは守るべきか、憲法、民法、刑法それぞれの上の法学上の基本問題を検討する。人権・民主主義、国連、国際人権法といった法学上の基本問題を検討する。
社会学	社会学概論		小原(一) [字]	EB2162	前	木	5-6	2	1～		必②	宇	身の回りの世界が、いかに社会全体の影響を受け、また影響を与えているか、社会学的な観点から分析することによって、社会学的な考え方を身につける。より具体的には、社会学の主要な二つの見方、すなわち方法論的個人主義(要素還元論)と方法論的全体主義(システム論)それぞれからの観点から、いじめや過労という社会現象がどのように分析できるか紹介する上で、二つの見方になじんでももらった上で、現代や過去の様々な社会現象をとりあげ、ともに分析していく。
哲学	哲学概論		山田(有) [字]	EB2163	後	木	5-6	2	1～		必②	宇	「哲学とはなにが?」という素朴な問いに対して、「その問いこそが常にすでに哲学である」という、いかにも哲学的な答え方がある。哲学における、そうした一見興味深く、しかし同時に、無責任ともいえるあり方を克服すること、つまり、曖昧で抽象的な要素を哲学という学問から排除していくこと、それが本講義の目標のひとつである。西洋哲学史を概観した上で、とりわけ近代哲学者たちの議論を紹介しながら、主に次の二つの問いに迫る。第一に、哲学において「考える」ということはどのようなことかを明らかにすること。第二に、「自由と責任」という概念に軸に、「いかに生きるべきか」という、古くから新しい哲学的問いを探求することである。
倫理学	倫理学概論		小谷	EB2164	前	木	9-10	2	1～		必②	群	基礎的な倫理学的思考法の涵養と、倫理学史の理解を主目的とし、それらを現代社会および学校現場における諸問題に応用していく。講義では倫理学的な基本法的な議論の紹介に加え、現代的なトピックスを取り上げ、グループワークを通じて倫理学的思考法を習得していく。その際、関連論文やニュース記事などを都度参考資料として用いることで、多角的・多面的に物事の価値を吟味する能力を養っていく。
社会分野	日本史特講		中村(光)[非]	EB2393	後	金	7-8	2	1～				主に前近代の日本史における様々なテーマについて、概説より深く考究する。
	日本史講義		梁瀬[非]	EB2394	前	火	7-8	2	2～				日本史に関する史料を講読する。主に中世史料を扱う。
	外国史特講		今井	EB2396	前	木	9-10	2	2～				20世紀中国のあゆみをとくに日本との関係に留意しながら学ぶ。
	外国史講義		今井	EB2397	後	木	5-6	2	2～				主に近現代の中国史や日中間関係史に関する歴史資料を読む。

社会分野

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修 区分	授業内容
社会分野	人文地理学特講		関戸	EB2399	前	木	7-8	2	2~			さまざまな時間と空間における歴史的景観を考察し、地域の歴史的背景をふまえて、過去から現在にいたる地域変容を捉える。歴史地理学の多様な研究テーマと具体的な事例を検討しながら、その手法について学ぶとともに、歴史的景観の特色を理解して、地域に関する地理的認識を深める。
	自然地理学特講		青山	EB2400	前	木	5-6	2	2~			さまざまな地図を用いながら、地域の自然環境成り立ち、災害リスクなどについて、具体的事例に即して学んでいく。
	地理学実習		関戸・青山	EB2401	前	火	9-10	1	2~			地理的事象に関する調査方法と資料・統計の分析手法を習得する。 (フィールドワークを含む)
	地理学野外調査実習		関戸・青山	EB2402	後	集	-	1	2~			3泊4日の日程でフィールドワークを行い、調査報告を作成する。 (地理学で卒論を書こうとする者は、2年次より受講することが望ましい)
	法学特講A		斎藤(周)	EB2403	前	金	7-8	2	2~			子どもの権利について教育という観点から考える。具体的には、子どもの意見表明権と自己決定、校則と制服、体罰、少年非行と少年法、現代日本の教育政策を取り上げる。
	法学特講B		斎藤(周)	EB2404	後	金	7-8	2				日本の戦後政治史を背景として、戦争と平和をめぐる多様な法的課題、そして選挙制度と民主主義について考察する。さらに、現代の法政策の動向を分析する。
	法学講読		斎藤(周)	EB2405	前	金	5-6	2	3~			法学に関する基礎的な文献の講読
	社会学特講		豊泉[非]	EB2406	前	集	-	2	1~			現代日本社会の諸課題を社会学的視点から分析し理解することを目標とする。ジェンダー、若者のアイデンティティ形成、格差と貧困をめぐる日本社会の現状と課題について取り上げる。
	経済学概論		今井	EB2407	前	集	-	2	2~			アジア経済史、開発経済学、現代東アジア経済論を中心に経済学を中心に経済学の考え方を学ぶ。
	哲学特講		小谷	EB2408	後	木	7-8	2	2			映像資料を取り上げながら、テキスト分析の方法を学ぶ。
社会分野	倫理学特講		小谷	EB2409	後	木	5-6	2	1~			フランクフルト学派などドイツの社会理論・社会倫理学を中心に、現代社会の価値観・倫理感を分析する。
	外国史演習		今井	EB2413	前	木	7-8	2	2~			中国や日本の近現代史についての論文や史料をよみ、歴史的な理解を深める
	外国史演習		今井	EB2414	後	木	7-8	2	2~			
	地理学演習		関戸・青山	EB2415	前	木	9-10	2	2~			学術論文の紹介と卒論の中間報告。
	地理学演習		関戸・青山	EB2416	後	火	7-8	2	2~			学術論文の紹介と卒論の中間報告を行う。 (地理学で卒論を書こうとする者は、2年次より受講することが望ましい。部分的に集中で開講する。3年も履修可)
	法学演習		斎藤(周)	EB2417	後	集	-	2	2~			法学にかかわる日本語文献を素材に議論する。 (11月中旬以降の火曜7-8, 9-10時限を予定している。)
	法学演習		斎藤(周)	EB2418	前	火	3-4	2	3~			法学にかかわる日本語文献を素材に議論する。
	倫理学演習		小谷	EB2419	後	火	9-10	2	2~			文献講読と議論を通じて、倫理学的思考を身につける。
	社会科学教育演習		宮崎	EB2420	前	火	5-6	2	3~			論文紹介とその考察及び卒論中間報告
	中学校指導法 (社会)	中等社会科指導法A		栗谷	EB2287	前	木	7-8	2	2		必②
中等社会科指導法B			宮崎	EB2288	前	火	3-4	2	2		必②	中学校社会科・高校地理歴史科総論及び地理教育論
中等社会科指導法C			宮崎	EB2289	後	火	5-6	2	2		必②	中学校社会科・高校地理歴史科総論及び公民教育論
中等社会科指導法D			栗谷	EB2290	前	木	5-6	2	3~		必②	中学校・高等学校の社会科及び公民科について理解深めるとともに、授業実践のための教材研究や授業設計を行い、模擬授業として実践する。

数学分野

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修 区分	メチィア	授業内容	
代数学	代数学概論		大下(達)	EB2182	後	金	9-10	2	1		必②	群	学校教育における算数・数学の基礎である「整数」について学ぶ。	
	代数学基礎Ⅰ		鈴木(拓)[字]	EB2183	前	金	5-6	2	1		必②	宇	行列に関する基本事項(演算、基本変形、行列式等)について、演習を交えながら講義する。	
	代数学基礎Ⅱ		石井	EB2185	後	木	5-6	2	1				前半ではベクトル空間および線形写像を導入し、後半では行列の対角化について講義する。	
	代数学講読A		石井	EB2656	後	集	-	2	3				輪読	
	代数学講読B		大下	EB2657	後	集	-	2	3				輪読	
		幾何学概論		山本	EB2186	前	金	9-10	2	1		必②	群	集合の基本的性質を整理したあと、数学でも用いられる論理を学ぶ。さらに、無限集合の濃度の概念について解説する。
幾何学	幾何学基礎Ⅱ		伊藤(隆)	EB2189	後	火	5-6	2	2				距離空間、位相空間	
	幾何学講読		山本	EB2658	後	集	-	2	3				輪読	
	解析学概論		酒井[字]	EB2190	前	水	5-6	2	1		必②	宇	この授業では、主に微分法についての講義と演習を通し、極限や微分の計算力を養い、解析学の基礎を身につける。	
解析学	解析学基礎Ⅰ		伊藤(隆)	EB2191	後	水	1-2	2	1		必②	群	積分法における区分求積法に基づく定積分を学び、広義積分を導入する。また二変数関数における偏微分法とその応用を学ぶ。	
	解析学基礎Ⅱ		照屋	EB2193	前	火	5-6	2	2				重積分、級数	
	解析学講読A		伊藤(隆)	EB2654	後	集	-	2	3				輪読	
	解析学講読B		照屋	EB2655	後	集	-	2	3				輪読	
	統計学		川上[字]	EB2194	後	木	7-8	2	2		必②	宇	統計学入門	
	確率論、統計学		照屋	EB2196	前	木	7-8	2	3~				測度論を基礎とした確率論をまなぶ。	
コンピュータ	情報基礎		遠山[非]	EB2197	前	金	7-8	2	2		必②		情報処理の基礎知識を学び、数学の基本的事柄を通してプログラミング技術の習得する。	
	代数学Ⅰ		石井	EB2434	前	火	7-8	2					群の基礎	
数学分野	幾何学Ⅰ		山本	EB2435	前	金	1-2	2	2				平面内または空間内にある曲線、および空間内の曲面について、その幾何的性質を調べる方法を解説する。	
	解析学Ⅰ		照屋	EB2436	後	月	3-4	2					正則関数、複素積分	
	環論		大下(達)	EB2437	後	月	7-8	2	2~				環の基礎	
	体論		大下(達)	EB2438	前	木	5-6	2	3~				体論の基礎、ガロア理論	
	数学教育学講読A		澤田	EB2638	後	集	-	2	3				輪読	
	数学教育学講読B		小泉	EB2639	後	集	-	2	3				輪読	
	関数解析学		伊藤(隆)	EB2646	前	火	5-6	2	3				関数解析学の基礎	
	中等数学科指導法A		澤田	EB2295	前	月	7-8	2	2		必②			
	中等数学科指導法B		澤田	EB2296	後	火	7-8	2	2		必②			中等数学科教育の理論と方法
	中等数学科指導法C		小泉	EB2297	前	金	9-10	2	3		必②			

理科分野

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修 区分	メティ ア	授業内容
物理学	基礎の物理学		夏目[宇]	EB2198	後	水	1-2	2	1		必②	宇	物質に働く力やそれによる運動を講義と演習をとおして学ぶ。
	物理学		寺嶋	EB2199	後	木	5-6	2	2~		必②	群	電気と磁気的基本的な性質や身近な応用について学ぶ。(「基礎の物理学」を履修していることが望ましい。)
物理学実験	基礎物理学実験		寺嶋・青木	EB2200	後	金	7-9	1	1		必②		基礎的な物理学実験。(コンピュータ活用を含む)
	基礎の化学		南[宇]	EB2201	前	金	5-6	2	1		必②	宇	化学分野の基礎となる、原子分子及び結晶の構造、熱力学、酸塩基、酸化還元とといった内容を、身近な物質・現象と結び付けて学ぶ。
化学	化学		日置・岸岡	EB2202	後	金	1-2	2	1		必②	群	基礎の化学の授業を踏まえ、中学校、高等学校の単元や実生活における化学の関わりを意識しながら無機化学、分析化学、有機化学、高分子化学に関する各論について基本的事項を概説する。
	基礎化学実験		日置・岸岡	EB2203	後	木	7-9	1	1		必②		基礎的な化学実験。(コンピュータ活用を含む化学実験)
生物学	基礎の生物科学		井口[宇]・ 佐藤(綾)・佐野	EB2204	前	木	7-8	2	1		必②	両	細胞学、生化学、分子生物学、遺伝学、進化学、生態学の基礎
	生物科学		佐藤	EB2205	後	金	7-8	2	3		必②	群	発生学、免疫学、生理学の基礎
生物学実験	基礎生物学実験		佐藤(綾)・佐野	EB2206	前	木	7-9	1	1		必②		基礎的な生物学実験。(コンピュータ活用を含む生物学実験)
	基礎の地球科学		瀧本[宇]	EB2207	後	木	5-6	2	1		必②	宇	幅広く地球惑星科学の基礎を学ぶ。
地学	地球科学		岩崎	EB2208	後	金	9-10	2	2		必②	群	中学理科の地学分野で扱う基本的な現象の実態を知り、それらの現象が起きる過程と機構を学ぶことで、地学分野の内容の理解を深める。
	基礎地学実験		岩崎	EB2209	前	金	7-9	1	1		必②		基礎的な地学実験。(コンピュータ活用を含む地学実験、雲粒の形成実験、気象観測、火山灰の観察、黒点の観測)
地学実験	物理学特論B		寺嶋	EB2441	後	木	7-8	2	2~				光の基本的な性質や伝わり方について学ぶ。
	物理学特論C		青木	EB2442	前	火	9-10	2	2~				熱の基本的な性質や熱力学の法則について学ぶ。
理科分野	化学特論B		日置	EB2443	前	木	5-6	2	2~				化学反応の基本的なメカニズムを習得する。化学を履修していることが望ましい。
	化学特論C		岸岡	EB2444	前	火	7-8	2	2~				無機化合物、元素について解説する。
理科分野	生命科学特論B		佐野	EB2445	後	月	3-4	2	2~				植物の環境応答について分子生物学的な解析の成果も含めて概説する。
	生命科学特論C		佐藤(綾)	EB2446	通	集	-	2	1~				動物の生態学、行動学、進化学
理科分野	地学特論B		岩崎	EB2447	前	月	7-8	2	2~				積乱雲の発生・発達機構および雷の発生機構、稲妻の進展過程と避雷方法について理解する。
	理科教育実験C		寺嶋・青木	EB2448	前	金	7-9	1	2				基礎的な物理学実験。(簡単な放射線の実験を含む)
理科分野	理科教育実験D		日置・岸岡	EB2449	前	木	7-9	1	2				基礎的な無機化学・有機化学・物理化学実験。
	理科教育実験E		佐野・佐藤(綾)	EB2450	前	火	5-7	1	2				基礎的な生物学実験。
理科分野	理科教育実験F		岩崎	EB2451	後	木	7-9	1	2				地学分野の実験とデータ解析を行う。
	中等理科指導法A		益田	EB2298	前	火	3-4	2	2		必②		
中学校指導法 (理科)	中等理科指導法B		栗原	EB2299	前	月	3-4	2	2		必②		中等理科教育の総論と各論
	中等理科指導法C		益田	EB2300	後	火	5-6	2	2		必②		
中学校指導法 (理科)	中等理科指導法D		益田	EB2302	後	火	7-8	2	2		必②		

音楽分野

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修 区分	メディア	授業内容
ソルフェージュ	ソルフェージュ		西田	EB2224	前	金	7-8	1	1~		必②		リズムや視唱の実践
	声楽 A		山崎(法)	EB2225	前	金	5-6	2	1		必②		合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む基礎的な声楽演習
	声楽 B		山崎(法)	EB2227	後	金	1-2	2	1		必②		基礎的な声楽演習
	日本の伝統的な歌唱		山崎(法) <small>【本條 秀穂】(非)</small>	EB2228	後	集	-	2	1~		必②		長唄三味線を中心とした日本の伝統的な歌唱演習
器楽	器楽 A		三國,菅生	EB2229	前	木	7-8	2	1~		必②		ピアノの伴奏法および和楽器演習の基礎的な実技演習
	器楽 B		菅生	EB2230	後	火	9-10	2	1~		必②		学校音楽で必要な基礎的・基本的な器楽の知識・技能の習得。リコーダー、撥弦楽器、和楽器等の器楽実習。
	合奏 I		菅生	EB2231	前	水	9-10	1	1~		必②		吹奏楽などの様々な形態のアンサンブル合奏の講義・演習を通して、合奏に関する基礎知識、基本的な演奏技術や指導法を学ぶ。
	合奏 II		菅生	EB2232	前	木	9-10	1	2~		必②		管弦打楽器の基礎的な演習(大編成合奏)
指揮法	指揮法		菅生	EB2233	後	火	5-6	1	2~		必②		合奏及び合唱の指揮法
	作曲技法		西田	EB2234	前	火	3-4	2	2		必②		ピアノ曲の作曲
	音楽史		木下[宇]	EB2235	後	木	9-10	2	2		必②	宇	音楽史
	音楽基礎実践		西田	EB2236	後	金	7-8	2	1~		必②	群	楽典を中心とした実践的な音楽理論
音楽理論	ソルフェージュ応用		西田	EB2461	後	金	5-6	2	1~				高度なリズムや視唱の実践
	和声法基礎		西田	EB2462	前	木	5-6	1	1~				属7までの和声法
	和声法応用	(一)	西田	EB2463	後	木	5-6	2	1~				ドッペルドミナントまでの和声法
		(二)	西田	EB2464	前	火	3-4	2	2~				ソプラノ課題までの和声法
	邦楽器演習		菅生	EB2465	前	木	5-6	1	2~				箏曲を中心とする邦楽器の演習
音楽分野		(一)		EB2466	前	木	9-10	2	1~				
		(二)	菅生	EB2467	後	木	5-6	2	1~				管弦打楽器の基礎的な実技演習
	管弦打楽器演習	(三)		EB2468	後	木	9-10	2	1~				
		(四)	菅生・西田	EB2469	前	集	-	2	1~				オーケストラ活動を通じた管弦打楽器の演習
		(五)		EB2470	後	集	-	2	1~				
		(一)		EB2471	後	木	3-4	2	1~				ピアノの基礎的な実技演習
		(二)		EB2472	前	木	9-10	2	1~				
	ピアノ演習	(三)	三國	EB2473	後	木	9-10	1	1~				
		(四)		EB2474	前	月	3-4	1	1~				ピアノ演奏に必要な技術の習得
		(五)		EB2475	前	火	7-8	1	1~				ピアノ演奏理論およびピアノ学習法
	ピアノ学習法		三國	EB2476	後	水	3-4	2	2~				
	合唱	(二)	山崎(法)	EB2477	後	木	7-8	2	1~				広範囲の合唱演習
		(一)		EB2478	前	木	7-8	2	2~				
	室内楽(二)			EB2480	前	火	5-6	2	2~				アンサンブルによる基礎的な室内楽演習
			菅生	EB2481	後	集	-	2	2~				

音楽分野

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修 区分	メディア	授業内容
音楽分野	声乐演習	(二)	山崎(法)	EB2226	前	木	5-6	2	2~				発声法及びイタリア・ドイツ・フランス・日本の歌曲、アリア
		(六)		EB2482	後	金	7-8	2	2~				
		(一)		EB2483	前	月	9-10	2	2~				
		(三)		EB2484	前	火	3-4	2	2~				
		(四)		EB2485	前	火	9-10	2	2~				
		(五)	EB2486	後	火	1-2	2	2~					
	音楽史概説		越懸澤[非]	EB2487	前	金	5-6	2	2			西洋音楽史、日本の伝統音楽及び諸民族の音楽について概説する。	
	中等科音楽科授業演習A		吉田(秀)	EB2488	前	火	7-8	2	3~			中等音楽科における現状と課題を検討し、新たな授業デザインの構築に向けて考察し、発表する。	
	中等科音楽科授業演習B		伊藤(陽)	EB2659	後	金	1-2	2	3~			中等音楽科における現状と課題を検討し、新たな授業デザインの構築に向けて考察し、発表する。	
	中等音楽科指導法A		小原(伸)[宇]	EB2306	前	金	7-8	2	2	必②	宇	中学校音楽科・高等学校芸術科音楽の目標や内容等について、学習指導要領を中心とした教科理解、教材研究の方法や学習指導案などについて学びます。講義を中心に必要に応じた発表や演奏なども含めて行います。授業計画で示した項目を中心に関連する事項等を適宜参照しながら進めます。	
中学校指導法 (音楽)	中等音楽科指導法B		伊藤 陽	EB2307	後	火	9-10	2	2	必②		中学校における音楽科教育に必要な基礎的な理念・知識・技術を学び、自ら声を出して歌う、楽器に触れる、音楽を聴く活動を通して指導方法を身につけていく。教科書のみならず幅広い分野での音楽の教材研究を行いながら、将来教育現場で通用する実践力を身につける事を目指す。	
	中等音楽科指導法C		新井(恵)[宇]	EB2308	前	木	9-10	2	3~	必②	宇	教育実習における各自の実践をビデオ等や指導案等によって振り返り、中学校及び高等学校の音楽授業の具体像をもとめるようにする。それを踏まえ、学生各自が指導案を作成し、模擬授業を実施して授業内容や方法の検討を行う。扱う内容は今日の課題を踏まえ、創作、鑑賞、我が国の伝統音楽、諸民族の音楽を中心に行う。	
	中等音楽科指導法D		吉田(秀)	EB2309	後	集	-	2	3~	必②		中等音楽科における現状と課題を検討し、新たな授業デザインの構築に向けて考察し、発表する。	

美術分野

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修 区分	メディア	授業内容
絵画	表現基礎〔絵画〕		喜多村・株田[宇]	EB2237	前	金	9-10	2	1		必②	群	絵画分野の造形表現に関する基礎演習
	絵画A			EB2238	前	木	5-7	1	2~		必②		素描を中心とした絵画の制作実習(映像メディア表現を含む)
	絵画B			EB2239	後	火	5-7	1	2~		必②		水彩絵の具とアクリル絵の具を用いた絵画の制作実習(映像メディア表現を含む)
	絵画C			EB2490	前	金	5-7	1	3~				受講生が生み出した主題に基づき、既習事項を応用・発展させて、絵画表現する制作実習
彫刻	表現基礎〔彫刻〕		林	EB2240	前	火	9-10	2	1		必②	群	彫刻分野の造形表現に関する基礎演習
	彫刻A			EB2241	前	月	7-9	1	2~		必②		塑造を中心とした具象・抽象彫刻の制作実習
	彫刻B			EB2242	前	木	5-7	1	3~		必②		木・石など実材を用いた彫刻の制作実習
	彫刻特別研究			EB2494	通	集	-	1	3~				野外彫刻・仏像彫刻など社会・環境・歴史との関わりから考察する彫刻研究

美術分野

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修区分	メディア	授業内容	
デザイン	表現基礎 [デザイン]		梶原[字]・齋江	EB2243	後	金	9-10	2	1		必②	宇	デザイン分野の造形表現に関する基礎演習	
	デザインA		齋江	EB2244	前	火	7-9	1	2~		必②		グラフィック・デザインを中心とするデザイン基礎造形の発展的な実習口	
	デザインB		齋江	EB2245	後	木	5-7	1	2~		必②		主にグラフィック・デザイン関連作品の制作実習	
	デザインC		齋江	EB2495	前	金	8-10	1	2~				プロダクトデザインに関する一連の課程実習および映像メディア表現の応用	
工芸	表現基礎 [工芸]		松島[字]	EB2246	後	木	5-6	2	1		必②	宇	工芸分野の造形表現に関する基礎演習	
	工芸A		平岩[非]	EB2247	通	集	-	1	1		必②		陶芸分野の制作実習	
	工芸B		三上[非]	EB2248	後	月	7-9	1	2~		必②		染織工芸分野の制作実習	
	美術理論		市川・本田[字]	EB2249	後	木	9-10	2	2		必②	群	芸術学および美術理論の基本的な考え方について講じる	
美術理論・美術史	美術史		市川・本田[字]	EB2250	前	木	9-10	2	2		必②	宇	古代から現代にかけての西洋美術の流れについて、鑑賞教育と関連付けながら講義する。	
	美術実地調査演習		林・市川	EB2251	通	集	-	2	2				美術に関する調査活動を行う実地演習	
	絵画特別研究		喜多村	EB2491	前	集	-	1	2~				モデルを用いた素描の制作及び制作論を含む演習	
	彫刻C		林	EB2492	後	火	8-10	1	2~				モデルを用いた頭像・胸像などの彫刻の制作実習	
	彫刻D		林	EB2493	前	集	-	1	2~				モデルを用いた全身像・トルソンなどの彫刻の制作実習	
	デザイン特別研究		齋江	EB2496	後	集	-	1	2~				デザイン造形の実習と理論考察	
	美学芸術学概論		市川	EB2497	前	火	9-10	2	3~				美学および芸術学に関する理論を概観する。	
	日本美術史概論		市川	EB2498	後	水	1-2	2	1~				先史・古代から現代までの日本美術の流れについて、鑑賞教育と関連付けながら講義する。	
	美術教育特別演習		郡司	EB2499	後	集	-	1	2~				美術教育に関する実地演習	
	美術教育研究セミナーI		林	EB2500	前	集	-	1	3				受講者の興味、関心に応じて、美術教育を構成する絵画、彫刻、デザイン、美術理論、美術史などを、担当する美術専攻担当教員のもとで、演習形式で学ぶ。(彫刻分野)	
	美術教育研究セミナーI		喜多村	EB2501	前	集	-	1	3				受講者の興味、関心に応じて、美術教育を構成する絵画、彫刻、デザイン、美術理論、美術史などを、担当する美術専攻担当教員のもとで、演習形式で学ぶ。(絵画分野)	
	美術教育研究セミナーI		齋江	EB2660	前	集	-	1	3				受講者の興味、関心に応じて、美術教育を構成する絵画、彫刻、デザイン、美術理論、美術史などを、担当する美術専攻担当教員のもとで、演習形式で学ぶ。(デザイン分野)	
美術分野	美術教育研究セミナーI		市川	EB2640	前	集	-	1	3				受講者の興味、関心に応じて、美術教育を構成する絵画、彫刻、デザイン、美術理論、美術史などを、担当する美術専攻担当教員のもとで、演習形式で学ぶ。(美術理論及び美術史分野)	
	美術教育研究セミナーI		郡司	EB2641	前	集	-	1	3				受講者の興味、関心に応じて、美術教育を構成する絵画、彫刻、デザイン、美術理論、美術史などを、担当する美術専攻担当教員のもとで、演習形式で学ぶ。(美術教育分野)	
	美術教育研究セミナーII		林	EB2502	後	集	-	1	3				受講者の興味、関心に応じて、美術教育を構成する絵画、彫刻、デザイン、美術理論、美術史などを、担当する美術専攻担当教員のもとで、演習形式で探求する。(彫刻分野)	
	美術教育研究セミナーII		喜多村	EB2503	後	集	-	1	3				受講者の興味、関心に応じて、美術教育を構成する絵画、彫刻、デザイン、美術理論、美術史などを、担当する美術専攻担当教員のもとで、演習形式で探求する。(絵画分野)	
	美術教育研究セミナーII		齋江	EB2642	後	集	-	1	3				受講者の興味、関心に応じて、美術教育を構成する絵画、彫刻、デザイン、美術理論、美術史などを、担当する美術専攻担当教員のもとで、演習形式で探求する。(デザイン分野)	
	美術教育研究セミナーII		市川	EB2643	後	集	-	1	3				受講者の興味、関心に応じて、美術教育を構成する絵画、彫刻、デザイン、美術理論、美術史などを、担当する美術専攻担当教員のもとで、演習形式で探求する。(美術理論及び美術史分野)	
	美術教育研究セミナーII		郡司	EB2644	後	集	-	1	3				受講者の興味、関心に応じて、美術教育を構成する絵画、彫刻、デザイン、美術理論、美術史などを、担当する美術専攻担当教員のもとで、演習形式で探求する。(美術教育分野)	
	芸術学特別演習		市川	EB2504	後	集	-	1	3~				美術と社会との関係について、美術史および美術理論の観点から理解する	
	中等美術科指導法A		茂木(一)[非]	EB2310	前	集	-	2	2			必②		中学校美術科におけるカリキュラム論、教材論、授業方法等に関する講義
	中等美術科指導法B		郡司	EB2311	前	火	7-8	2	3			必②		中学校美術科における目標、内容、指導法等に関する講義
	中等美術科指導法C		茂木(一)[非]	EB2312	後	集	-	2	2			必②		中学校美術科におけるカリキュラム論、教材論、授業方法等に関する講義

保健体育分野

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修 区分	メチ、ア	授業内容
体育実技	陸上競技		中雄	EB2252	前	金	7-8	1	1		必②		陸上競技の様々な種目の特性及び指導法を学ぶとともに、自らの技能の向上を図り、指導力を身につける。
	ダンス		木山	EB2253	前	木	7-8	1	1		必②		ダンスの特性や基礎的基本的技能について学ぶとともに、中学校を中心とする指導法について講義、実技をまじえ習得を目指す。
	武道A		島	EB2254	前	火	7-8	1	2		必②		柔道実技一般並びに指導法の基本を体験的に学習する。特に指導法は、中学校での授業に必要な理論と実技を題材に学習する。
	器械運動		新井	EB2255	前	金	1-2	1	1		必②		器械運動の技術および指導法について学習を行う。また、技能の向上および指導法の実習を行う。
	水泳		田井	EB2256	前	集	-	2	3~				本講義では、水泳の技術を理解し、自己の泳能力を高めることと同時に水泳の指導方法についても体系的に学習し、指導者としての資質を高める。さらに生涯にわたる水中運動（水中エクササイズ等）についての技術・知識を習得する。
	球技A		未定[非]	EB2257	通	集	-	1	2		必②		ボールゲームの学習内容には、ボール操作の技能やボールをもたないときの動きに加えて、戦術に関する知識や知識を活用した状況判断がある。これらの学習内容を内包した効果的なゲーム教材を用いてゲームパフォーマンスの向上を図るとともに、指導法についても学ぶ。
	体育原理		田井	EB2258	前	木	7-8	2	3				体育やスポーツに関する基本的な概念を概観する。また、体育やスポーツの歴史や社会の中での様々な事象を通して、体育やスポーツが果たす役割を考える。
	体育心理学		松浦(祐)[宇]	EB2261	前	金	7-8	2	2		必②	宇	身体運動が心身にどのような影響を与えるのか、体育・スポーツ心理学の観点から、人間の身体と心の関係について理解を深める。また、運動の心理的効果やスポーツ実践場面特有の心理現象について理解し、体育・スポーツの実施および指導に役立てる方法を考える。
	生理学		島	EB2262	前	木	9-10	2	2		必②	群	運動に伴う身体の生理学的な変化についての基礎知識を学び、運動の必要性や効果について、理解を深める。
	衛生学・公衆衛生学		久保(元)[宇]	EB2263	後	木	5-6	2	2		必②	宇	衛生学および公衆衛生学に関する講義
学校保健	学校保健 I		新井	EB2264	後	金	7-8	2	2		必②	群	学校保健の基本的な視点についての講義を行い、教育現場における保健活動の役割について考察する。（小児保健、精神保健、学校安全及び急救処置を含む。）
保健体育分野	運動学		中雄	EB2259	後	水	1-2	2	1		必②		運動学の基本的な知識を学ぶとともに、運動の必要性や効果について、理解を深める。
	運動方法論		中雄	EB2260	後	集	-	2	2~				運動学の基本的な知識を学ぶとともに、運動の必要性や効果について、理解を深める。
	解剖生理学		小山(啓)	EB2505	後	木	5-6	2	1				各種スポーツの指導方法及びトレーニング方法について学習する。
	体づくり運動		島	EB2506	後	木	7-8	2	1				身体運動を学習するための基礎となる解剖学、生理学について概説する。
	球技G		三田部[非]	EB2508	前	集	-	1	3				小学校、中学校、高等学校と12年間の体育・保健体育科のカリキュラムのなかで、唯一どの職種でも必修である体づくり運動領域について、実技を行いつつながら実践的指導力を養うことをねらいとする。
	野外実習A		樹森[非]	EB2509	後	集	-	1	2				サッカーの技術特性をふまえ、体づくり、体ほぐしの運動の趣旨を踏まえた学習指導の在り方について学習する。
	野外実習B		木山・中雄・田井・古澤[非]	EB2510	後	集	-	1	1				ウィンタースポーツについて、その代表であるスキーマの基本的技能並びに指導法について学習する。
	中等保健体育科指導法A		木山・中雄・田井・古澤[非]	EB2511	後	集	-	1	2				冬季の野外活動全般の基本的技能並びに指導法を身に付ける。
	中等保健体育科指導法B		鬼澤	EB2313	前	月	7-8	2	2		必②		中学校保健体育科体育分野のカリキュラム論、指導論及び教材づくり論を取り上げ、基礎的な理解を深める。また、体育授業の映像視聴を通して優れた体育授業についてイメージを深めるとともに、マイクロレコーディングを通して体育指導を経験する。
	中等保健体育科指導法C		久保(元)[宇]	EB2314	前	金	5-6	2	3		必②	宇	中学校保健体育科保健分野の目標、学習内容と指導法、評価について概説する。
中等保健体育科指導法D		木山・鬼澤	EB2315	後	木	7-8	2	2		必②		中学校保健体育科体育分野の目標および学習内容に応じた授業づくり、学習指導、評価について、模擬授業の実施を通して理論的・実践的に理解を深め、教科指導力を育成する。	
中等保健体育科指導法D		木山・鬼澤	EB2316	前	火	7-8	2	3		必②		中学校保健体育科体育分野の目標および学習内容に応じた授業づくり、学習指導、評価について、模擬授業の実施を通して理論的・実践的に理解を深め、教科指導力を育成する。	

技術分野

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修 区分	メディア	授業内容
木材加工	木材加工学		小熊	EB2210	後	金	7-8	2	1~		必②	群	木材及び木質材料の性質、木材の切削理論、加工法の各論
	木材加工学演習		小熊	EB2211	前	金	5-6	1	1		必②		木工手工具の調整、使用法及び板材の加工法
	製図 I		片柳	EB2212	後	月	7-8	1	2		必②		製図の基礎
	金属加工学		未定	EB2213	未定	未定	7-8	2	2		必②	群	鋳造、成形加工、溶接・切断、切削加工、研削加工、表面加工、特殊加工
金属加工	金属加工学演習		未定	EB2214	未定	未定	9-10	1	2		必②		手仕上げ、板金、切削(施盤・フライス)による加工実習
	製図 II		片柳	EB2215	前	月	7-8	1	3		必②		機械製図の基礎
機械	機械工学		片柳	EB2216	後	金	7-8	1	2		必②		機械工学に関する講義
	機械工学演習		片柳	EB2217	前	火	7-9	1	3		必②		機械工学に関する演習
電気	電気工学		松原[宇]	EB2218	前	木	5-6	2	2~		必②	宇	電気に関する講義
	電気工学演習		片柳	EB2219	後	火	7-9	1	2		必②		電気工学に関する演習
栽培	生物育成学		白石(俊)[非]	EB2220	前	木	5-6	2	1		必②		野菜の発達生理と栽培技術
	生物育成学演習		白石(俊)[非]	EB2221	前	木	7-8	1	1		必②		野菜、草花などの栽培を中心とした実習
情報とコンピュータ	情報工学		川島[宇]	EB2222	後	木	7-8	2	2~		必②	宇	情報に関する講義
	情報工学演習		古田	EB2223	前	月	7-8	1	2		必②		中学校・技術の教員になるうえで必要なプログラミングおよびハードウェアの基礎的知識・技能の実習。
技術分野	工業材料		未定	EB2454	未定	未定	5-6	1	1~				金属材料の基礎、材料(金属、セラミックス、プラスチック)の性質と用途
	創造工作実習		未定	EB2455	未定	未定	9-10	1	2				鋳造、溶接・切断、3Dプリンタ、3D-CNCによる加工実習
	工業教理		片柳	EB2456	前	金	9-10	1	1~				関数の極限、連続、微分、積分とそれらの応用
	論理的思考と情報教育		古田	EB2458	後	月	9-10	1	2				問題解決という視点から、論理的思考と情報教育との関わりについて概説する。
	エネルギー変換と制御		片柳	EB2459	前	集	-	2	3				電気・電子機器に関する講義(「エネルギー変換と制御実習」も並行して受講すること)
	エネルギー変換と制御実習		片柳	EB2460	前	集	-	1	3				電気・電子機器に関する実習(「エネルギー変換と制御」も並行して受講すること)
中学校指導法 (技術)	中等技術科指導法 A		丸山[宇]	EB2301	後	木	5-6	2	1~2		必②	宇	技術教育の歴史、社会背景、学習指導要領の変遷
	中等技術科指導法 B		小熊	EB2303	前	金	7-8	2	2		必②	群	4つの内容の指導内容
	中等技術科指導法 C		小熊	EB2304	後	金	9-10	2	2		必②		各4つの内容に関する指導内容、方法
	中等技術科指導法 D		小熊	EB2305	後	金	9-10	2	2		必②		技術・家庭科(技術分野)における模擬授業を中心とする講義
職業指導	職業指導論		小熊	EB2661	後	集	-	2	3				産業構造と職業、日本における専門学校・高校の現状と進路状況、進路指導の意義と基礎理論、学校における進路指導の実践

特別支援教育分野

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修 区分	メティ ア	授業内容
基礎理論	特別支援教育総論		木村	EB2321	前	金	5-6	2	1		必②		特別支援教育養成課程の基本となる講義である。障害について、その種類・程度・程度の理解だけでなく、障害の意味するところの社会的・文化的・歴史の変遷を理解したうえで、障害種別によらない教育的ニーズに基づく教育とは何か等を概説する。
知的(心理)	知的障害児の心理・生理・病理		吉野	EB2322	前	月	9-10	2	1～		必②		知的障害児の心理的特性、解剖・生理について学ぶ。さらに、幼児期から思春期にかけての子どもの成長について学習し、知的障害をきたす疾病についての理解を深める。
	知的障害児心理学特論		霜田	EB2328	前	火	5-6	2	2				知的障害児の認知発達、言語発達、社会性の発達などの心理発達と支援について解説する。(知的障害)
肢体(心理)	肢体不自由児の心理・生理・病理		吉野	EB2324	後	木	7-8	2	1～		必②		肢体不自由が児童生徒に及ぼす心理的影響について学習し、肢体不自由をきたす疾病について理解を深め、適切な肢体不自由児の支援を行うための基礎知識および肢体不自由教育の特色・教育内容について学ぶ。
病弱(心理)	病弱児の心理・生理・病理		吉野	EB2326	前	月	7-8	2	2～		必②		病弱児の生理・病理・心理について概観するとともに、疾病の理解と支援の実際について講義を行う。
聴覚(心理)	聴覚障害児の心理・生理・病理		吉野	EB2339	前	木	7-8	2	2～		必②	群	聴覚障害の心理・生理・解剖・検査法及び疾患の病理の理解。
	聴覚障害児の心理特論		金澤・中野	EB2340	後	木	7-8	2	2～		必②	群	聴覚障害児及びびろう重複障害児の心理とその支援について概説する。
知的(方法)	知的障害児教育課程・指導法		木村	EB2323	後	木	5-6	2	1		必②		特別支援教育における教育課程の考え方や学習指導要領の記載内容について理解し、知的障害のある子どもへの指導の考え方や教育課程の編成の方法について知る。
	知的障害教育特論		木村	EB2329	後	火	5-6	2	2～				知的障害のある子どもへの卒業後の社会参加を意識しながら、講義及びグループワークの活動等を通して知的障害児の指導と学級経営について理解を深める。
視覚(心理)	視覚障害児の心理・生理・病理		吉野	EB2336	前	木	9-10	2	3～			群	視覚障害の心理・生理・解剖・検査法及び疾患の病理の理解。
	視覚障害児の心理特論		中村	EB2337	前	金	5-6	2	4			群	視覚障害の子どもに対する教育的対応の観点からその心理的特性について詳説する。
肢体(方法)	肢体不自由児教育課程・指導法		阿尾	EB2325	前	金	7-8	2	2～		必②	群	肢体不自由教育の現状と課題を講義したうえで、肢体不自由児の起因疾患、学習特性、教育内容、教育方法などについて講義する。
病弱(方法)	病弱児教育課程・指導法		斎藤[字]	EB2327	後	金	7-8	2	2		必②	字	病弱児の指導法を中心に、状態像の理解の仕方や授業のなかでの配慮について述べてととも、教育課程に関する知識も交えながら総合的な講義を行う。
視覚(方法)	視覚障害児教育課程・指導法		福田[字]	EB2338	後	木	9-10	2	2		必②	字	視覚障害のある児童・生徒について、全盲および弱視などの状態像に応じた指導法を中心に、教育課程に関する知識も交えながら総合的に講義を行う。
聴覚(方法)	聴覚障害児教育課程・指導法		木村	EB2341	前	木	5-6	2	2～		必②	群	聴覚障害のある子どもたちに対してどのような教育目的からどのような教育の場でのどのような教育方法がとられてきたのか、現在、小学校のみならず、難聴学級、通級による指導、通常の学級、知的障害特別支援学校等の様々な教育の場においてどのような教育が行われているのかを理解する。
	聴覚障害児教育特論		木村・中野	EB2342	前	木	7-8	2	3～		必②	群	聴力特性、知的発達、生活環境等が多様な子どもたちに対して、その子どもの間口に合わせた適切な指導・支援を行うための指導技術を獲得していくために、その基本となる手話等の学習、ビデオ教材等を使用した手話による指導の実際の理解、聴覚障害のある子どもたちのつまずきや強みを踏まえた教材の研究等を行う。
視覚(心理・方法)	視覚障害教育概論		福田[字]	EB2333	前	金	9-10	1	2			字	視覚障害児教育のあり方について、心理・生理・病理学的理解、指導法、教育課程など総合的な内容の講義を行う。
知的(心理・方法)	障害児自立活動論		阿尾	EB2330	前	火	7-8	2	2				知的障害児を中心として障害による学習上又は生活上の困難を改善、克服するための指導について学ぶ。
	障害児心理学演習C		霜田	EB2647	後	集	-	1	3				各自の研究テーマを設定するための先行研究の検討、また先行研究に基づいた研究方法の検討、ならびに研究実施と研究経過の検討。(知的障害)

特別支援教育分野

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修メティ 区分	授業内容
知的 (心理・方法)	知的障害教育演習A I		木村	EB2651	前	集	-	1	3			良質な資料・文献を検索・入手するための基本的知識を習得するとともに、教員が選定した知的障害教育に関する文献を講読することを通して、文献の読解・分析の方法を把握する。 (木村研究室で卒論指導を受けようとする者は必ず受講すること)
	知的障害教育演習A II		木村	EB2652	後	集	-	1	3			教員のディレクションを受けながら受講生が選択した知的障害教育関連の文献を講読することを通して、文献の読解・分析の方法の習得の深化を図るとともに、各受講生の問題関心を深め、研究テーマを焦点化する。
	知的障害教育演習B I		木村	EB2653	前	集	-	1	4			発達障害児における診断基準ならびに認知・行動特性への理解とともに障害特性に基づく支援方法を理解する。
	発達障害教育概論		霜田	EB2331	後	火	5-6	2	1		必②	重複障害教育全般について概説する。
領域以外 (心理・方法)	重複障害教育概論		中村	EB2332	前	月	7-8	2	3~		必②	重複障害教育に関する実践研究論文の講読や実践の観察を通して、受講生の教育実践開始に関わる基礎的な知識等の習得をめざす。
	重複障害教育演習A		中村	EB2531	後	集	-	1	3			

家政分野

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修メティ 区分	授業内容
家庭経営学	家庭経営論		赤塚[字]	EB2265	後	水	1-2	2	1~		必②	家庭科教育の背景学問である家政学や家庭経営学について考察する。また、家庭科の教育内容としての家庭経営に焦点をあて、社会の変化とのかかわりや家庭生活の変遷をたどり、家庭経営における現代生活の課題を検討する。
	生活環境論		佐々木[字]	EB2266	後	木	9-10	2	2~		必②	快適な生活環境を考える上で必要な論点を衣生活を切り口にして整理し、それらがもつ基本的な問題や諸課題について基礎的な考え方を講義する。
	生活経済論		赤塚[字]	EB2274	前	木	7-8	2	3~		字	生活者の立場から経済をとらえ、家計調査を用いた具体的な家計構造の分析やライフステージとのかかわり等について学ぶ。
	衣生活論		山岸[非]	EB2267	前	木	5-6	2	2~		必②	環境要素としての被服と人体の生理衛生生について学ぶ。
被服学	被服構成実習 I		小林(陽)[非]	EB2272	後	集	-	1	1~		必②	被服製作に関する実習
	被服素材論		山岸[非]	EB2275	後	木	5-6	2	1~			被服材料としての繊維、糸、布の構造とその性質について学ぶ。
食物学	衣生活環境実験		前田(亜)[非]	EB2280	後	集	-	1	3~			被服材料学、被服管理学、被服衛生学に関する実験を行う。
	食生活環境実験		町田	EB2281	後	集	-	1	3~			食物の構成成分や食品添加物に関する分析実験
	食生活論		町田	EB2268	後	金	9-10	2	1~		必②	食生活と健康について考え、食物と栄養の概略を学ぶ。
	調理実習 I		佐藤(佐)	EB2273	後	金	5-7	1	1~		必②	食生活を営むための主として調理実習
	栄養学		町田	EB2276	後	火	9-10	2	1~			食物と栄養について食品化学・生化学的な面から基礎を学ぶ。
	住生活論		田中(麻)	EB2269	前	金	5-6	2	1~		必②	住居領域の内容の基本となる、日本の住まいについて基本的な知識を習得する
住居学	住環境論		田中(麻)	EB2277	後	金	3-4	2	1~			住居と地域社会との関わりについて様々な視点から学ぶ。
	住生活環境実習		竹内[非]	EB2282	後	集	-	1	3~			住環境の測定や造形活動を通して、住生活環境について総合的な視点から学ぶ。
	住居製図実習		石田[非]	EB2645	前	木	5-7	1	3~			設計、製図の基礎を修得することを目的とする。
保育学	保育学		上里	EB2270	前	木	7-8	2	2~		必②	胎生期・乳幼児期・児童期の心身の発達の諸相と、発達課題について概説する。また、「保育」「児童」「親性」「保育環境」概念と、それらに関する現代的課題について検討する。
	児童福祉論		良[字]	EB2271	前	金	1-2	2	3~			日本と世界における子どもの福祉の現状と課題を、子どもの権利条約の理念を通して考える。

家政分野

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修 区分	メチャ	授業内容
家政分野	家庭電気・機械及び情報処理		西蘭[非]	EB2279	後	集	-	1	1~				高免「家庭」に必要な、家庭電気・機械及び情報処理に関する内容を学ぶ。
	家族関係論		佐藤(宏)[非]	EB2512	後	木	5-6	2	2~				客観的データに依拠しながら日本の家族関係の特質を明らかにする。
	衣管理論		前田(亜)[非]	EB2513	前	集	-	2	3~				被服の管理と保管、および衣服製作の科学について学ぶ。
	食物科学		町田	EB2515	前	月	7-8	2	2~				食品の成分や特性、食の安全に関する基礎知識について学ぶ。
	看護学		中西[非]	EB2516	前	集	-	2	2~				1.看護概念(1)人間の身体発育と機能(結婚、妊娠、分娩、産褥、更年期) 2.一般的な看護技術(体温、脈拍、呼吸測定法、薬法、与薬、排泄、食事)
	環境に配慮した生活		町田	EB2517	前	木	9-10	2	2~				消費と環境の領域のうち、とくに生活と環境とのかわりについて学ぶ。
	家政研究セミナー I		上里	EB2518	後	集	-	2	3			必①	受講者の課題意識に応じて、家政教育を構成する家族と生活経営、保育、食生活、住生活等に関する科学を、家政専攻担当教員のもとで、演習形式で学ぶ。
	中等家庭科指導法 A		佐藤(佐)	EB2317	後	月	9-10	2	2			必②	中等家庭科のカリキュラム論及び教材論
	中等家庭科指導法 B		上里	EB2318	前	火	9-10	2	2			必②	中等家庭科教育の理論と授業研究
	中等家庭科指導法 C		佐藤(佐)	EB2319	前	金	5-6	2	3			必②	中学校家庭科の指導方法及び評価演習
中等家庭科指導法 D		上里	EB2320	後	木	7-8	2	2			必②	中等家庭科教育の各論と授業設計	

英語分野

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修 区分	メチャ	授業内容
英語学	英語学入門		山田	EB2165	前	木	9-10	2	1			群	現代言語学・英語学の基本的な考え方、英語の音声の仕組み(音声学、音韻論)、英文法(形態論/語形学)成論、統語論、意味論、語用論)、英語の歴史の変遷(英語史)、国際共通語としての英語(社会言語学)、ことばの獲得と学習(第一言語獲得論、第二言語習得・学習論)の基礎概念を概観し、ことばの様々な側面に対する理解を深め、将来授業を行う際に役立つ知識・技能を修得することである。
	英文法演習		天沼[宇]	EB2166	前	金	1-2	2	3			宇	英文法の科学的、多角的な理解を深めるための基礎力を身に付けるとともに、英語の歴史の変遷や国際共通語としての英語の実態を理解する。
	英語学演習 A		柴田	EB2167	前	火	5-6	1	2~				英語の母音体系及び子音素について学ぶ。
	英語学演習 B		山田	EB2168	前	月	9-10	1	2~				英語科教員養成の観点から、教材研究開発の基礎となる専門力を身につけるため、英語の言語学的研究の目的や方法、成果などを概観し、具体的な言語現象についての基本的な知見を理解し、基礎的な観察・分析力を身につけるための演習を行なう。到達目標は、具体的な英文や音声資料等の英語表現の事例について、文法や英語の音声の仕組みなどに関する言語学的な観点からの基本的な分析ができ、教材理解や教材研究等への応用ができることである。
	英語学特殊講義 B		山田	EB2422	前	木	9-10	2	3~				英語学の理論的な知見を英語教育の授業実践にどのように応用できるかを考える。日本語と英語の文法構造を比較対照し、日本人英語学習者がつまづきやすい学習項目を明らかにすることで、実際にどのような支援が効果的であるかを考察する。
	音韻論		柴田	EB2430	前	金	5-6	1	3~				英語と日本語を比較対照しながら、音声学から音韻論への橋渡しをする。
	英語文学入門 A		宮本[非]	EB2169	前	集	-	2	1			群	アメリカ文学について、文学史に沿って歴史や文化のコンテクストを学びながら、実際の文学作品(一部抜粋)や映像作品を見て、アメリカ文学や文化に対する理解を深め、同時に英語力の向上も目指す。
	英語文学入門 B		金田	EB2170	前	木	7-8	2	1			群	童話やナニーサリー・ライムを含むさまざまな時代や種類の詩、演劇、物語を取り上げ、諸々の事象を考察しながら、文学批評の方法を学ぶ。
	英語文学演習 A		金田	EB2171	後	木	9-10	1	2				イギリスやアメリカの短編を精読し、様々な表現方法や形式に触れながら、テクストを読むという行為について、議論をしながら考察する。
	英語文学演習 B		金田	EB2172	後	火	9-10	1	2				イギリス文学をナラティブ構造や修辞法などに注目しながら考察、検討する。特に、David Lodgeの <i>The Art of Fiction</i> で取り上げられている事項を参照しながら、作者や読者、視点といった文学批評に纏わる問題も視野に入れ、さまざまなテクストを批評的に読む能力を養う。受講生は、知識としてさまざまな事項を覚えるだけでなく、自らの考えを構築することが求められる。評価は、授業中の課題、テスト、期末のレポートをもととする。

英語分野

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修区分	メチア	授業内容
英語コミュニケーション	オーラルコミュニケーション演習Ⅰ		カステヤノー	EB2173	前	金	9-10	1	2～				This course focuses on the fluency and accuracy aspects of spoken English communication. Activities are both extensive (extensive listening & listening response journals, informal interaction) and intensive (accurate production, formal presentations). Activities will include extensive listening, recorded audio journals, formal/informal group discussions, and oral presentations/demonstrations.
	オーラルコミュニケーション演習Ⅱ		カステヤノー	EB2174	後	金	9-10	1	2～				This course expands on the skill development activities of Semester I.
	現代英語表現法演習		山野[宇]	EB2175	前	月	7-8	2	3			宇	SDGsに関する社会的課題について、記事や論文を精読し、それをもとにディスカッションやプレゼンテーション等の演習を行い、実践的な英語表現力を養う。
	英作文Ⅰ		フーゲンブーム	EB2176	前	水	7-8	1	1				英作文演習を中心に、英語によるディスカッションや口頭発表をあわせた技能統合型学習を進め、英語の表現力と理解力(読解力)の涵養と学修指導上のポイントの理解をはかる。
	英作文Ⅱ		フーゲンブーム	EB2177	後	水	7-8	1	1				「英作文Ⅰ」に引き続き、英作文演習を中心に、英語によるディスカッションや口頭発表をあわせた技能統合型学習を進め、英語の表現力と理解力(読解力)の涵養と学修指導上のポイントの理解をはかる。
	異文化理解と言語教育		渡部	EB2178	前	火	9-10	1	1～				異文化コミュニケーションに関わる理論を学び、英語科教材に描かれている「異文化」について捉え、英語による表現力への理解を深める。またバイリンガリズムや英語教育と日本語教育の視点から、英語教育がいかに日本における多文化共生に資することができるかを考える。
	言語文化論Ⅰ		田中(一)	EB2180	後	木	7-8	1	1～				言語学の基礎を学びながら、言語の構造と機能を理解することを通じて、言語と文化に対する認識を深める。
	言語文化論Ⅱ		田中(一)	EB2432	前	月	5-6	1	2～				認知言語学におけるカテゴリー化の問題をとりあげ、言語を通じて文化とそれを越えた人間の認知機構をさぐる。
	言語と世界		三原	EB2181	後	火	5-6	1	1～				諸外国と日本の文化や歴史、異文化コミュニケーションの現状を知り、それらを言語化することを学ぶ。授業回ごとにテーマを設定し、教員が講義を行うが、受講者自身も随時発表を行う。
	英語学特殊講義A		柴田(知)	EB2421	前	火	7-8	2	1～				英語の通時的変化(歴史)と共時的変異(多様性)について考察する。
英語学特殊講義A		金田	EB2423	前	木	3-4	2	2～				幾つかの英語演劇を精読し、英語力を養いながら、批評能力を身に付ける。	
英語文学特殊講義B		金田	EB2424	前	火	9-10	2	2～				古英語の時代から現代までのイギリス文学の流れを概観しながら、代表的な散文、詩、劇を取り上げて精読し、それぞれの特質や歴史的な位置づけを考える。同時に、イギリスの文学や歴史についての英語で説明し、議論できる能力を養う。	
英語文学特別演習B		金田	EB2425	前	火	5-6	1	3				主としてイギリス文学作品をもとに、作者とテクスト、視点、読者など、現代批評理論で扱われる問題を考察することを通じて、批評的視座を身に付ける。	
英語科指導法特殊講義A		渡部	EB2426	後	集	-	2	2～3				英語科指導法について、理論・実践の両面から理解を深める。具体的な事例を取り上げるケーススタディを行い、教室で起こる様々な事象に対応できるように実践的能力を養う。	
英語学特別演習A		柴田(知)	EB2427	後	火	5-6	1	2～				英語のアクセント、リズム及びイントネーションについて学ぶ。	
英語文学特別演習A		金田	EB2428	後	集		1	3				幾つかの英語短編小説を精読し、英語力を養いながら、批評能力を身に付ける。テクストとしては、特にジェンダーやセクシュアリティに纏わるものを取り上げる。	
英語史		柴田(知)	EB2429	後	火	7-8	1	1～				古英語から現代英語までの歴史を概観し、現代の標準的な英語が形成されてきた過程を考察する。	
イギリス文学作品研究		金田	EB2431	前	木	9-10	1	3				イギリスにおける代表的な詩を精読し、英語力を養いながら、それぞれの詩の歴史的、文化的位置を考える。受講生は、英英辞書を参照しながら語法やニュアンスを詳細に分析し、批評するところが求められる。	
英語科言語活動研究		津久井	EB2433	前	月	9-10	1	3				言語学と英語教育との関連性を学ぶとともに、教育実習における英語の授業実践に必要な基礎力を身に付ける。	
中等英語科指導法A		津久井	EB2291	前	月	7-8	2	2			必②		
中等英語科指導法B		津久井	EB2292	後	月	7-8	2	2			必②		
中等英語科指導法C		田村(岳)[宇]	EB2293	前	木	5-6	2	2			必②	宇	
中等英語科指導法D		津久井	EB2294	後	月	9-10	2	2			必②		
中学校指導法(英語)												中等英語科教育の理論と実践を学ぶ。	

教育分野

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修 区分	メ ディ ア	授業内容	
教育分野	教育研究原論		山崎(雄) 他	EB2343	後	金	9-10	2	1		必②	群	「教育」という現象を研究するにあたり、どういうアプローチがあるのかを、関連語学の成果や方法論をふまえ、初学者向けに講ずる。	
	現代学校教育論演習		長谷川[宇] 他	EB2344	後	木	9-10	2	2～		必②	宇	学校教育の現代的な課題(例、不登校、日本型学力、学校から社会への移行問題、など)を理解し、教育実践を通して課題を解決する方法を考えられるようになることを目指す。	
	教育哲学		上原(秀)[宇]	EB2345	前	木	7-8	2	2～			宇	今日の教育に関する諸概念を哲学的に吟味するために、過去の教育思想に関する基礎的な知識を修得する。	
	比較教育		小野瀬[宇]	EB2346	前	金	3-4	2	3～			宇	諸外国の教育や学校の制度・態様を比較教育文化論的視点から学び、各国の特色を明らかにしていくとともに、それらとの比較を通して日本の教育・学校の特徴を浮き彫りにしていく。個人またはグループによる発表と全員によるディスカッションを行う。	
	教育評価論		丸山[宇]	EB2348	前	金	1-2	2	3～			宇	授業では、教育評価の意義、歴史的背景、現状、論点について講義を行う。	
	教育調査法		新藤	EB2349	後	水	1-2	2	2～			群	社会調査の基礎的な方法について学んだ後、受講者の関心に基づいて調査を企画し、実査・分析・報告書の作成という一連の流れを経験する。	
	教育社会学特講		新藤	EB2350	前	金	5-6	2	2～					現代の教育問題に関する教育社会学の知見を学ぶことで、教育社会学的な視座の獲得につなげる。
	授業と生徒指導の国際比較		山崎(雄)	EB2351	前	月	3-4	2	2～					学校教育にかかわる諸外国の映画・ドキュメンタリー等を通じ、日本との共通点・相違点等について考察する。群大・宇大別日程。宇大は後期・集中
	教育・倫理・哲学		三澤	EB2352	後	木	7-8	2	2～			群		教育に関わるテーマについて、哲学的、倫理的に探究する。(今年度は、徳・幸福・人生の意味を検討する。)
	学校教育原論(教育分野)		野村(晃)・川野	EB2353	前	木	5-6	2	1		必②			学校教育をめぐる諸課題(教科指導、生徒指導、教育相談、学校経営等)について、現場の状況を具体的に踏まえながら論じる。
	教育内容・方法学演習A		山崎(雄)	EB2354	前	月	1-2	2	2～					カリキュラム開発や授業の主体としての教師のあり方をめぐる文献を講読する。
	教育経営学演習A		高橋(望)	EB2355	前	火	7-8	2	2～					教育行政学、教育経営学、比較教育学に関する文献の講読を通じて、具体的教育問題・事例について検討・分析を行う。
	西洋教育史概説		三澤	EB2359	後	月	5-6	2	2～					西洋の教育に関する思想と歴史を学ぶ。
	教育社会学演習		新藤	EB2360	前	月	5-6	2	2～					教育社会学の基本文献を読み進めることで、教育と社会の関わりについて自分なりに考えの力を養う。
	生涯学習支援論Ⅰ		片岡[非]	EB2361	前	金	9-10	2	2～					生涯学習支援に関わる基礎的な内容を扱う。
	生涯学習支援論Ⅱ		片岡[非]	EB2362	後	金	9-10	2	2～					生涯学習支援に関する実践的な内容を扱う。
	教育学研究セミナーⅠ		鈴木	EB2363	前	集	-	2	3～			必②		前半では、教育学諸分野の研究のあり方や方法について学ぶ。後半では、受講生の興味・関心に応じて、教育学諸分野について教育専攻所属の各教員のもとに分かれて演習形式で学ぶ。
教育学研究セミナーⅡ		山崎(雄)	EB2364	後	集	-	2	3～			必②		前半では、教育学諸分野の研究のあり方や方法について学ぶ。後半では、受講生の興味・関心に応じて、教育学諸分野について教育専攻所属の各教員のもとに分かれて演習形式で学ぶ。	

教育心理分野

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修 区分	メチア	授業内容
教育心理分野	心理教育統計学の基礎		音山	EB2365	後	木	5-6	2	1~		必②	群	心理教育統計法のうち、基礎統計領域（正規分布と相対的位置、回帰、母集団と標本、統計的検定と効果量の基本的考え方、検定は2要因分散分析、カイ2乗検定程度まで）を扱う。
	人格心理学		川原[宇]	EB2366	前	木	5-6	2	2~		必②	字	人格・性格（パーソナリティ）に関する内容を概説する。
	保育内容の指導法(人間関係)	(教育心理専攻科目)	大島	EB2367	後	金	7-8	2	2~				領域「人間関係」の意義や内容について心理学的観点から学ぶ。
	学習心理学		佐藤(浩)	EB2368	後	火	5-6	2	2				学習・記憶心理学の基礎を学ぶ。
	幼児理解の心理学	(教育心理専攻科目)	大島	EB2369	前	火	5-6	2	2~				乳幼児の心の発達について学ぶ。 ※2018年度以前入学生は「幼児心理学特講」に読み替える
	保育内容の指導法(言葉)	(教育心理専攻科目)	佐藤(浩)	EB2371	前	月	7-8	2	2				乳幼児期の言語発達について心理学の成果を中心に学ぶ。
	学校教育原論(教育心理分野)		川野・野村(晃)	EB2372	前	木	5-6	2	1		必②		学校教育をめぐる諸課題(教科指導、生徒指導、教育相談、教育相談、学校経営等)について、現場の状況を具体的に踏まえながら論じる。
	心理教育統計学		山口	EB2373	前	金	7-8	2	2~				多変量解析などの心理統計学を学ぶ
	教育心理学実験 I		佐藤(浩)・山口	EB2374	前	木	7-10	2	2				心理学実験と質問紙調査法の基礎を学ぶ。
	教育心理学実験 II		音山・大島	EB2375	後	木	7-10	2	2~				心理検査・観察法等についての実習。教育心理学実験 I を受講済の者に限る。
	教育心理学研究セミナー I	(教育心理学)	山口	EB2377	前	集	-	2	3~				教育心理学関係の基礎的文献を読む。卒論のための基礎的な知識を獲得する。特に四年生は卒論の準備を行う。※同教員開講科目の重複履修(再履修)は不可
	教育心理学研究セミナー I	(心理学研究法)	佐藤(浩)	EB2378	後	火	1-2	2	2~				研究例を教材に、心理学の研究手法や分析方法を学ぶ。※同教員開講科目の重複履修(再履修)は不可
	教育心理学研究セミナー I	(教育社会心理学)	音山	EB2379	前	集	-	2	2~				教育社会心理学の基礎文献講読。 ※同教員開講科目の重複履修(再履修)は不可
	教育心理学研究セミナー I	(発達心理学)	大島	EB2380	前	集	-	2	2~				発達心理学の基礎文献の講読等。 ※同教員開講科目の重複履修(再履修)は不可
	教育心理学研究セミナー II		山口	EB2381	後	集	-	2	3~				教育心理学関係の応用的文献を読む。 ※同教員開講科目の重複履修(再履修)は不可
	教育心理学研究セミナー II	(学習心理学)	佐藤(浩)	EB2382	前	金	1-2	2	3				学習心理学、認知心理学の研究例や、その教育への応用を学ぶ。
	教育心理学セミナー II	(発達心理学)	大島	EB2383	後	集	-	2	2~				発達心理学に関する文献の講読を中心に、発達心理学の研究方法を学ぶ。

forefront科目

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修 区分	メティ ア	授業内容
ICT教育の授業設計	ICT教育の授業設計 I		佐野・片柳	EB2553	後	集	-	1	1		必①	群	学校の授業で活用することのできるICT技術とそれらの活用の実際を学び、将来自らが行う授業に役立てられる知識と心構えを身に付ける。
	ICT教育の授業設計 II		佐野・片柳	EB2554	通	集	-	1	2~		必①	群	共同教育学部における学習の際や学校現場で仕事をすすめる上で必要となるさまざまなICTツールを十分に活用できる能力を培う演習を行う。
forefront	フロンティア教育法		佐野	EB2555	前	木	1-2	2	3				2020年度から小学校での実施が始まったプログラミング教育について、講義と演習により理解を深める。
	環境教育		瀧本[宇]	EB2556	前	月	5-6	2	3		必①	宇	環境教育の理論と実践の概要について学び、持続可能な社会の実現において教育が果たす役割を理解する。
	ESD教育法		佐々木[宇]	EB2557	前	集		2	3		必①	宇	初等教育（幼児期、学童期）、中等教育（中高）におけるESDを推進していくための基礎的な概念と知識及び指導法の実践について学ぶ。
	SDGs総合演習	(数学)	山本	EB2558	後	集		2	3				模擬授業等の活動を通して、SDGsの考え方や取り組みを理解し、授業に取り入れる方法や態度を学ぶ。
	SDGs総合演習	(保健体育)	小山(啓)	EB2560	後	集		2	3				模擬授業等の活動を通して、SDGsの考え方や取り組みを理解し、授業に取り入れる方法や態度を学ぶ。
	SDGs総合演習												人間活動の根本はことばである。この地球が誕生して46億年、その中で唯一ことばを許された私たちホモ・サピエンスは、SDGsを通して地球、他の生物種にどのような貢献ができるのか。ことばは創造性の根源である。ひとのことばから始めるSDGsを考えてみたい。授業後半では前半の理論的な知見を具体的な指導案に反映させた模擬授業実践をする。
在外教育施設 教育実習	在外教育施設教育実習A		国際交流委員会	EB2562	後	集	-	2	3				Society5.0、ムーメンション目標などを背景に、SDGs精神に基づき、将来の教育に 対する夢を語り合い、授業の在り方を模索したい。
	在外教育施設教育実習B		国際交流委員会	EB2562	後	集	-	2	4				在外教育施設（日本人学校等）での教育実習。卒業要件に係る教育実習を終えている者が履修できる。この実習を行うことは、小学校、中学校、高等学校、および特別支援学校教員免許状を取得するための要件ではない。履修を希望するものに対し、国際交流委員会が面接等を行い選抜する。この実習のための事前事後学習も実施する。
	在外教育施設教育実習C		国際交流委員会	EB2562	後	集	-	2	4				在外教育施設（日本人学校等）での教育実習。卒業要件に係る教育実習を終えている者が履修できる。この実習を行うことは、小学校、中学校、高等学校、および特別支援学校教員免許状を取得するための要件ではない。履修を希望するものに対し、国際交流委員会が面接等を行い選抜する。この実習のための事前事後学習も実施する。

総合教職科目

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修区分	メチャ	授業内容	
教職特別演習	教職特別演習Ⅰ		中村・中雄	EB2565	通	集	-	1	2		必①	群	教育実習への抱負や期待を宇大・群大の両大学の学生が専攻の枠を超えて互いに交流し、学び合う。	
	教職特別演習Ⅱ		丸山[宇]	EB2566	後	集	-	1	3				教育実習を終えての感想や今後の抱負を宇大・群大の両大学の学生が専攻の枠を超えて互いに交流し、学び合う。	
教育現場体験学習	教育現場体験学習		教育実習委員会	EB2568	通	集	-	1	1		必①		※履修登録は各自で行うこと。	
授業実践基礎学習	授業実践基礎学習		教育実習委員会	EB2570	通	集	-	1	2		必①		※履修登録は各自で行うこと。	
	教職実践基礎演習	(英語)	津久井	EB2572	後	集	-	1	3		必②		教育実習の授業実践発表	
	教職実践基礎演習	(音楽)	未定	EB2573	後	集	-	1	3		必②		教育実習の授業実践発表	
	教職実践基礎演習	(家政)	未定	EB2574	後	集	-	1	3		必②		教育実習の授業実践発表	
	教職実践基礎演習	(技術)	未定	EB2575	後	集	-	1	3		必②		教育実習の授業実践発表	
	教職実践基礎演習	(教育)	未定	EB2576	後	集	-	1	3		必②		教育実習の授業実践発表	
	教職実践基礎演習	(教育心理)	未定	EB2577	後	集	-	1	3		必②		教育実習の授業実践発表	
	教職実践基礎演習	(国語)	未定	EB2578	後	集	-	1	3		必②		教育実習の授業実践発表	
	教職実践基礎演習	(社会)	未定	EB2579	後	集	-	1	3		必②		教育実習の授業実践発表	
	教職実践基礎演習	(特別支援教育)	阿尾	EB2580	後	集	-	1	3		必②		教育実習の授業実践発表	
	教職実践基礎演習	(数学)	未定	EB2581	後	集	-	1	3		必②		教育実習の授業実践発表	
	教職実践基礎演習	(美術)	市川	EB2582	後	集	-	1	3		必②		教育実習の授業実践発表	
	教職実践基礎演習	(保健体育)	島	EB2583	後	集	-	1	3		必②		教育実習の授業実践発表	
	教職実践基礎演習	(理科)	未定	EB2584	後	集	-	1	3		必②		教育実習の授業実践発表	
体験的科目	スポーツ教室(体操教室)指導実践		新井(淑)	EB2586	通	集	-	1	2		必①		小・中学生との運動体験や運動指導の活動を通して、運動特性や運動感覚について理解したり、子どもたちの行動や考えおよび気持ちについての理解を深める。また、器械運動の効果的な指導方法について考え、学習環境づくりについて学習を行う。(器械運動が苦手な人や、運動経験の少ない人でも参加可能です。)	
	中学生学習サポート「地域寺子屋」		新井(淑)	EB2587	通	集	-	1	2～				前橋市教育委員会主催の事業で、平成31年度は市内7つの公民館を会場に、週2回、夕方～夜間にかけて1時間半程度の学習支援活動を実施する。元教員とともに中学生の学習支援を行うことで、生徒の実態把握、学習環境づくりなど、生徒とかわる実践的な力を育成する。	
	ボランティア体験(サークル活動を含む)		教務委員会	EB2588	通	集	-	1	2～		必①		※履修登録は各自で行うこと。	
	フレンドシップ教育実践演習		小熊・片柳	EB2589	通	集	-	1	2～				小・中学生とのプログラミング及びロボット製作の現場に参加し、子どもの行動、気持ちを理解するとともに、創造性、問題解決活動の育成を具体的に体験する。	
	コミュニケーション学習ワークショップ		郡司・市川	EB2590	通	集	-	1	2～				アートをテーマとした参加体験型学習としてのワークショップの理論と実践を体験的に学ぶ。	
	放課後児童クラブ活動ボランティア体験		新藤	EB2591	通	集	-	1	2～				放課後児童クラブでのボランティア体験を通じて、子ども理解を促し、子どもへの関わり方を身につけるとともに、放課後児童クラブの役割や意義、学校との連携のあり方について認識を深める。	
	附属学校園での体験		教務委員会	EB2592	通	集	-	1	2～				幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の子どもの様子を巡りを通して、発達の諸相を学ぶ。	
	クイア・スタディーズ		金田	EB2593	前	火	7-8	2	2～					レズビアンとゲイを中心に、LGBTQ+に関するさまざまな事象に焦点を当てながら、ジェンダーやセクシュアリティに纏わる言説を読み解き、男女の二元論や異性愛体制を支えるイデオロギーを考察する。

総合教職科目

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修区分	授業内容
授業実践研究	小学校英語教育のための基礎英会話	(一)	カステヤノ	EB2594	前	金	1-2	1	1~			小学校で外国語(英語)・外国語活動を指導するための英会話能力を養う。本授業は演習を中心とし、授業を行う際に使用する教室英語、Assistant Language Teacherと一緒にティーム・ティーチングを行う際に必要な授業の打合せや教材作成及び授業中におけるコミュニケーションを円滑にするための英会話を中心に学ぶ。
	小学校英語教育のための基礎英会話	(二)	カステヤノ	EB2595	後	金	1-2	1	1~			小学校で外国語(英語)・外国語活動を指導するための英会話能力を養う。本授業は演習を中心とし、授業を行う際に使用する教室英語、Assistant Language Teacherと一緒にティーム・ティーチングを行う際に必要な授業の打合せや教材作成及び授業中におけるコミュニケーションを円滑にするための英会話を中心に学ぶ。
実践的教職論	実践的教職論 (キャリアサポート演習)		高橋(美)[非]	EB2596	後	集	-	1	3~			就職のためのコミュニケーション能力(自己PR、教育関連問題の論作文、集団討論など)の育成を図る。
	日本語(表現文型Ⅰ)		牧原	EB2597	前	月	5-6	1				中級レベルで必要な文法知識の確認を行いながら、実際に文型を利用して文章を作成するトレーニングを行う。表現文型Ⅱとあわせて履修すること。
	日本語(表現文型Ⅱ)		牧原	EB2598	前	木	7-8	1				中級レベルで必要な文法知識の確認を行いながら、実際に文型を利用して文章を作成するトレーニングを行う。表現文型Ⅰとあわせて履修すること。
	日本語(表現文型Ⅲ)		瀬間[非]	EB2599	後	月	3-4	1				初級~中級レベルの文法知識の確認を行いながら、例文作成の練習を通じて、その運用能力の向上を目指す。
実践日本語	専門日本語		牧原	EB2600	前	集	-	1	2~			教育実習で必要なコミュニケーション能力の向上を目的とする。特に、教育現場でよく用いられる言い回しや、児童生徒の学齢に合わせた話し方を題材に、よりよいコミュニケーションの取り方を共に考えていく。学部正規学生を対象とする。

選択科目

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修区分	授業内容
博物館学	博物館概論		野村(正)[非]	EB2601	前	金	7-8	2	2~3			博物館学の概論的内容(分類や機能、組織、資料、展示、教育普及など)について講義する。
	博物館資料論		築瀬[非]	EB2602	前	火	9-10	2	2~3			博物館資料の取り扱いや調査・研究方法などを学ぶ。
	博物館展示論		松田[非]	EB2603	後	集	-	2	2~3			展示という行為の本質について考え、博物館活動における展示の実際について具体的に検討する。11月下旬から開講予定。
	博物館資料保存論		野村(正)[非]	EB2604	後	集	-	2	2~3			博物館における資料保存の意義、保存方法、保存環境などについて解説する。(履修資格:「博物館概論」を修得済み、「博物館資料論」を修得済みまたは履修中であること。)11月下旬もしくは12月上旬から金曜日1-4時限。
	博物館経営論		放送大学	EB2605	前	集	-	2	1~			
	博物館経営論		放送大学	EB2606	後	集	-	2	1~			
	博物館教育論		放送大学	EB2607	前	集	-	2	1~			
	博物館教育論		放送大学	EB2608	後	集	-	2	1~			
	博物館情報・メディア論		放送大学	EB2609	前	集	-	2	1~			
	博物館情報・メディア論		放送大学	EB2610	後	集	-	2	1~			
博物館実習			市川	EB2611	前	集	-	3	4			博物館学関係科目の総合的なまとめと、博物館の教育普及活動と学校教育の連携について講義、特に地域博物館を念頭に置いた資料に関する実習を行う。また、実習に向けての事前指導と実習後の事後指導を行う。(履修資格:博物館学関係科目を修得済みまたは履修中であること)

選択科目

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修 区分	メティ ア	授業内容
図書情報学	図書館情報学A		小山(守)[非]	EB2612	前	集	-	2	2~				(隔年開講:2022年度開講) 学校図書館の教育的意義や経営など全般的事項についての理解を図る。
	図書館情報学B		小山(守)[非]	-	-		-	2	2~				(隔年開講:2023年度開講) 学校図書館メディアの構成に関する理解及び実務能力の育成を図る。
	図書館情報学C		小川(三)[非]	-	-		-	2	2~				(隔年開講:2023年度開講) 学習指導における学校図書館メディア活用についての理解を図る。
	図書館情報学D		小川(三)[非]	EB2613	後	集	-	2	2~				(隔年開講:2022年度開講) 児童生徒の発達段階に応じた読書教育の理念と方法の理解を図る。
	図書館情報学E		野口(武)[非]	EB2614	前	集	-	2	2~				学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る。
	生涯学習概論 I		立見[非]	EB2615	前	集	-	2	2~				生涯学習の基礎について概説する。
	生涯学習概論 II		後藤[非]	EB2616	後	集	-	2	2~				学生参加による実践と社会教育の現状の把握
	社会教育経営論 I		片山[非]	EB2617	前	月	7-8	2	2~				社会教育計画の理論と実践。
	社会教育経営論 II		後藤[非]	EB2618	後	月	9-10	2	2~				社会教育計画の理論と実践
	社会教育実践研究 I		後藤[非]	EB2648	前	月	5-6	2	2~				社会教育実践を検討する。
	社会教育実践研究 II		齊藤(裕)[非]	EB2649	後	集	-	1	2~				社会教育実践を検討する。(開講日時については後日掲示にて通知)
	社会教育実践研究 III		茂木(勇)[非]	EB2650	通	集	集	-	1	2~			社会教育施設業務の業務と実践。社会教育施設実習 (夏期休暇を中心に1~2週間実施)
幼児理解の心理学	幼児理解の心理学	(教職専門科目)	大島	EB2619	前	火	5-6	2	2~				乳幼児の心の発達について学ぶ。 ※2018年度以前入学生は「幼児心理学特講」に読み替える
幼稚園 (保育内容の指 導法)	保育内容の指導法(言葉)	(教職専門科目)	佐藤(浩)	EB2370	前	月	7-8	2	2~				乳幼児期の言語発達について心理学の成果を中心に学ぶ。
	保育内容の指導法(健康)		甲賀[非]	EB2620	前	集	-	2	2~				幼稚園教育要領における領域「健康」についてその内容や意義について実践的に学 ぶ。
	保育内容の指導法(人間関係)	(教職専門科目)	大島	EB2621	後	金	7-8	2	2~				領域「人間関係」の意義や内容について心理学的観点から学ぶ。
	保育内容の指導法(環境)		安藤	EB2622	後	水	1-2	2	2~				環境を通して行う教育を基本とする幼児期の教育について、「環境」に視点を当て 具体的・実践的に学ぶ。
	保育内容の指導法(表現)		吉田(秀)・郡司	EB2623	後	火	3-4	2	2~				幼児教育における表現領域の指導法に関する講義
	幼児の健康・運動		中雄	EB2624	後後	金	5-6	1	1~				幼児期の発育発達の特徴や、それにとりもなう運動能力の発展について学習する。
	幼児と人間関係	(教職専門科目)	大島	EB2625	後前	金	5-6	1	1~				幼稚園教育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容を踏まえ、幼児期を 中心に人間関係の特徴について主に発達心理学的な視点から学ぶ。特に社会性の発 達に焦点を当て、「人と関わる力」を培う過程についての講義を行う。
	幼児と環境		安藤(哲)	EB2626	後後	火	9-10	1	1~				幼児にとりもなう環境の意味や環境を通して行う教育の意義等について考察する。
	幼児と言葉	(教職専門科目)	河内	EB2627	後前	火	9-10	1	1~				幼稚園教育要領における領域「言葉」のねらい及び内容を理解し、幼児期の言葉の 学習的背景と基礎的知識を学ぶ。
	音楽表現		吉田(秀)	EB2628	後	水	3-4	1	2~				幼稚園教育要領における領域「表現」のねらい及び内容を理解し、幼児の音楽表現 能力の育成に向けて備えておくべき保育者の知識や技能を学ぶ。
	造形表現		郡司	EB2629	後	水	3-4	1	2~				領域「表現」における造形を中心とした活動の意義や内容に関する演習

選択科目

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修 区分	メティ ア	授業内容
選択科目	日本語教育教材分析		渡部	EB2630	前	集	-	2	2~				外国人児童生徒を対象とした日本語教育に関する基礎知識として、日本語教材を言語習得の観点から分析し、どのような言語活動がデザインできるかを学ぶ。
	ドイツ語とその文化		田中(一)	EB2631	前	木	7-8	2	2~				ドイツ語圏の文化について、基礎的なドイツ語を使って読み解いてゆく。同時に初級ドイツ語の復習も行う。原則として、教養教育外国語教養科目群のドイツ語の単位を取得していることが履修条件。 ※本授業は、教養教育科目としても開講していますが、教育学部生は教養教育科目としては履修できません。
	日本語と日本語の違いを学ぶⅠ		中野・二神・下島[非]	EB2632	前	木	9-10	1	2				日本語-日本語の通訳トレーニングを通して、聴覚障害児者の教育・支援場面ににおける日本語の理解・表現力を高める。「言語としての日本語1/A/1/B」を履修していること、もしくは履修相当の日本語スキルを有することを条件とする。
	日本語と日本語の違いを学ぶⅡ		中野・二神・下島[非]	EB2633	後	火	7-8	1	2				日本語-日本語の通訳トレーニングを通して、聴覚障害児者の教育・支援場面ににおける日本語の理解・表現力を高める。受講にあたり、「日本語と日本語の違いを学ぶⅠ」を履修していることを条件とする。
	日本語と日本語の違いを学ぶⅢ		中野・二神・下島[非]	EB2634	前	水	3-4	1	3				日本語-日本語の通訳トレーニングを通して、聴覚障害児者の教育・支援場面ににおける日本語の理解・表現力を高める。受講にあたり、「日本語と日本語の違いを学ぶⅡ」を履修していることを条件とする。
	日本語教育授業分析		牧原	EB2636	前	集	-	2	3~				群馬大学の留学生を対象とした日本語科目を観察・分析し日本語の授業を担当するための基礎的な知識を身につけた後、地域の日本語教室を見学しボランティア教室での授業運営の在り方を理解し、現状を把握することを旨とする。

教育実習

科目区分	授業科目	記号等	担当教員	時間割 番号	学期	曜日	時限	単位数	学年	クラス	履修 区分	メティ ア	授業内容	
教育実習	教育実習事前事後学習(通年)		教育実習委員会	EB2532	通	集	-	1	3~				学習指導の実践に関する講義や模擬授業をとおして教育実習A、Bへの準備を進める。本実習終了後は各自の実習経験を総括し、その後の学習活動につなげる。	
	小学校教育実習(5単位)		教育実習委員会	EB2533	通	集	-	5	3				公立小学校において教育実習を行う。教師の仕事について認識を深め、教育現場の実態や問題点を把握し、それらを解決していく方法や態度を学ぶ。 ※教育実習A(小学校)3年生(2020年度以前入学生)用	
	中学校教育実習(5単位)		教育実習委員会	EB2538	通	集	-	5	3				公立中学校において教育実習を行う。教師の仕事について認識を深め、教育現場の実態や問題点を把握し、それらを解決していく方法や態度を学ぶ。 ※教育実習A(中学校)3年生(2020年度以前入学生)用	
	小学校教育実習(3単位)		教育実習委員会	EB2539	通	集	-	3	3				公立小学校において教育実習を行う。教師の仕事について認識を深め、教育現場の実態や問題点を把握し、それらを解決していく方法や態度を学ぶ。 ※教育実習B(小学校)3年生(2020年度以前入学生)用	
	中学校教育実習(3単位)		教育実習委員会	EB2542	通	集	-	3	3				公立中学校において教育実習を行う。教師の仕事について認識を深め、教育現場の実態や問題点を把握し、それらを解決していく方法や態度を学ぶ。 ※教育実習B(中学校)3年生(2020年度以前入学生)用	
	幼稚園教育実習(3単位)		教育実習委員会	EB2549	通	集	-	3	3				附属幼稚園において教育実習を行う。幼稚園教師の仕事について認識を深め、教育現場の実態や問題点を把握し、それらを解決していく方法や態度を学ぶ。 ※幼稚園教育実習(3年次)3年生(2020年度以前入学生)用	
	特別支援学校教育実習(2単位)		教育実習委員会	EB2550	通	集	-	2	3				附属特別支援学校において教育実習を行う。教師の仕事について認識を深め、教育現場の実態や問題点を把握し、それらを解決していく方法や態度を学ぶ。 ※教育実習C 3年生(2020年度以前入学生)用	
	教育実践インターンシップ	A		教務委員会	EB2552	後	集	-	1	3				教育実習を終了した学生が、長期間指定された学校現場で現職教員の指導を受けつつ、教科指導や生活指導等の現場体験を積み、教員としての実践的力を身に付け、高める。